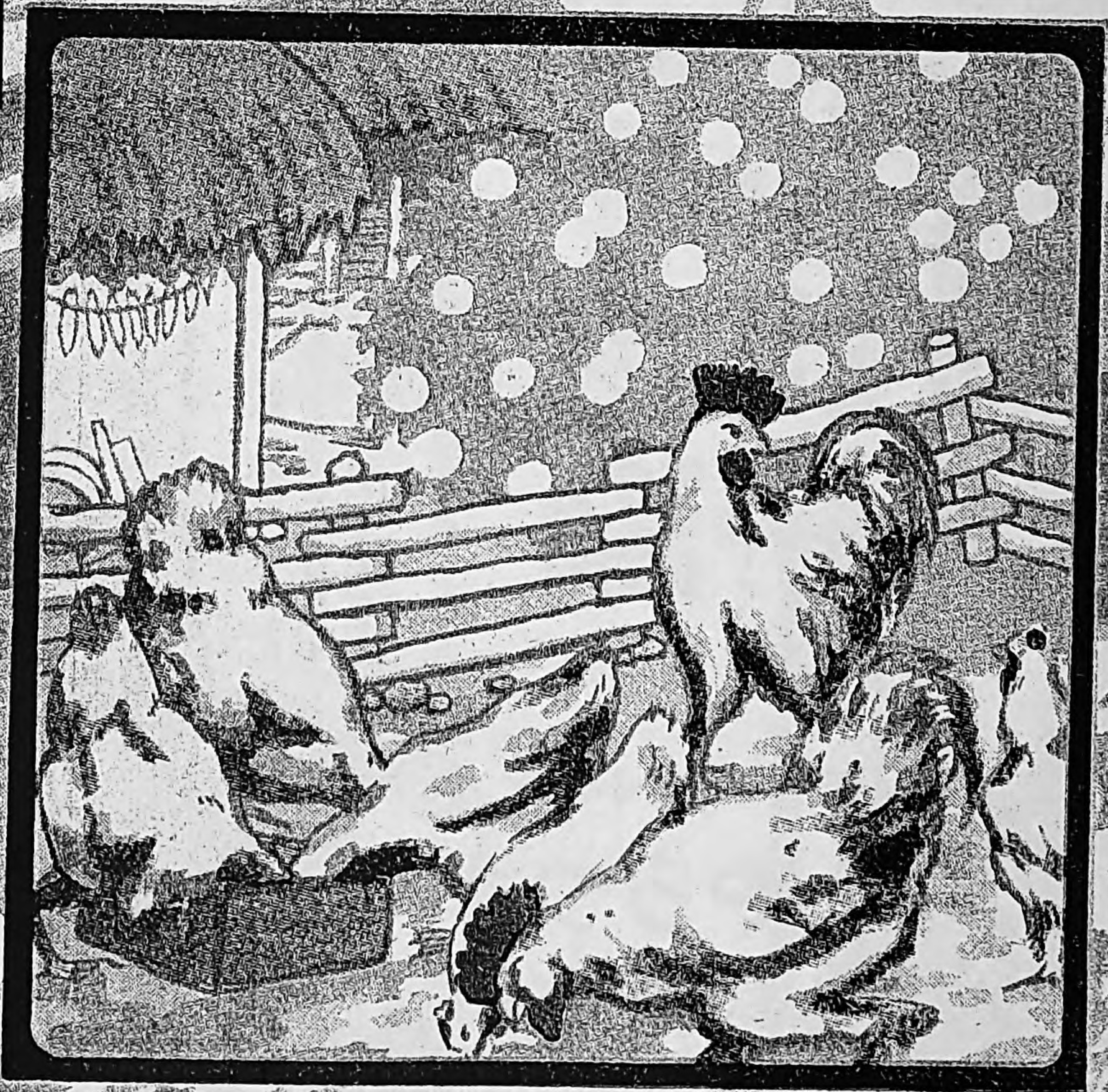
4巻2号

大正十年一月廿七日印刷納本　大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年二月一日發行（毎月一回一日發行）

處女の友

第四巻　二月　第二號



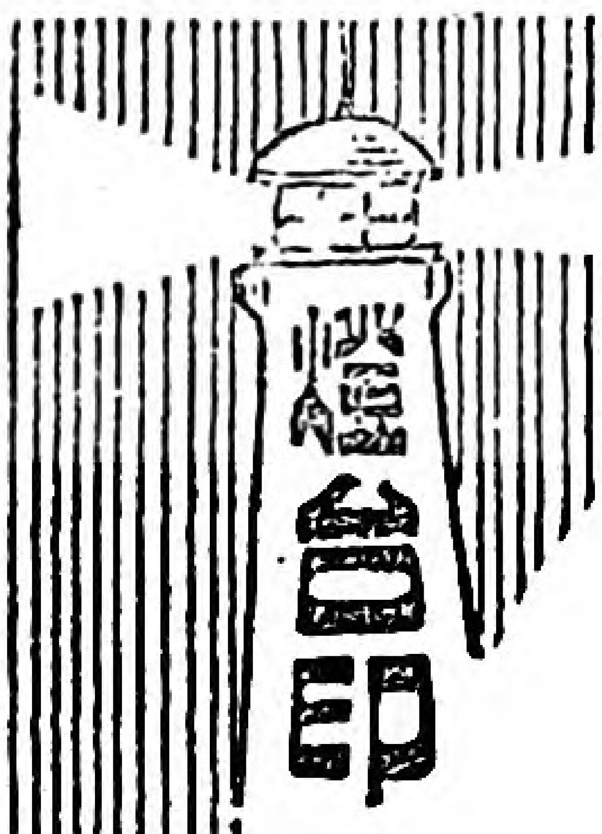
處女會中央部發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は婦女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

經濟的家庭染料の大王

燈臺印 絞り染下繪用 青花（あをばな）
定價壹袋十錢 送料二錢
絞り染の下繪をお書きになるには本品を御使用下さい使用法簡單にて具合よろし



家庭用改良染粉

みやこ染

色合（紺、黒、赤、淺黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萠黄、納戸、鶯茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、）

定價（小瓶（半反染）金二十五錢
　　　大瓶（一反染）金四十五錢）（染法は現品に詳しく書いてあります）

●みやこ染は 御婦人御子供様方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です
●みやこ染は 他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です
●みやこ染は 色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます

◇賣捌は全國の小間物店洗物店藥店にあり
◇御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意

東京小舟町

かつらや

電話浪花 長一九一五八番 二九五八番
振替東京三九五番

御申越次第染色標本（說明書進呈）此の廣告を見し旨御書添を乞ふ

絞り用染料として大好評

かならず

一滴（てき）……

洗面後にお塗けなさい

肌アレ止めに一番良く効く

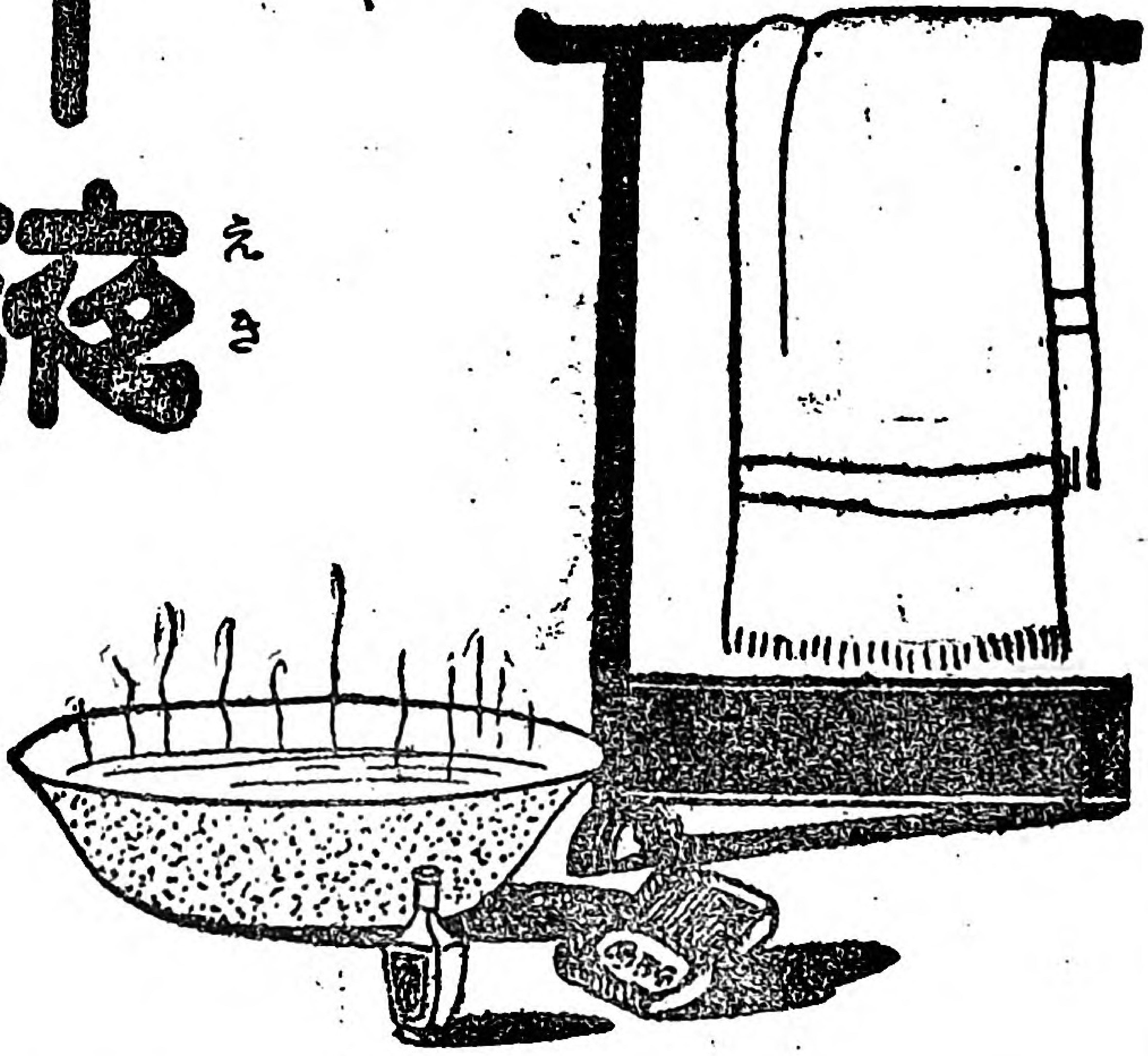
理化粧料

ホーカー液（えき）

垢抜（あかぬけ）した色艶（いろつや）を現はし……

薄紅（ほんのり）色白くなる……

小　二十八錢
中　五十八錢
大　一圓十錢
送費内地六錢



ホーカー化粧品本舗
堀越嘉太郎商店
東京神田和泉橋
振替東京一五六

處女の友

二月號

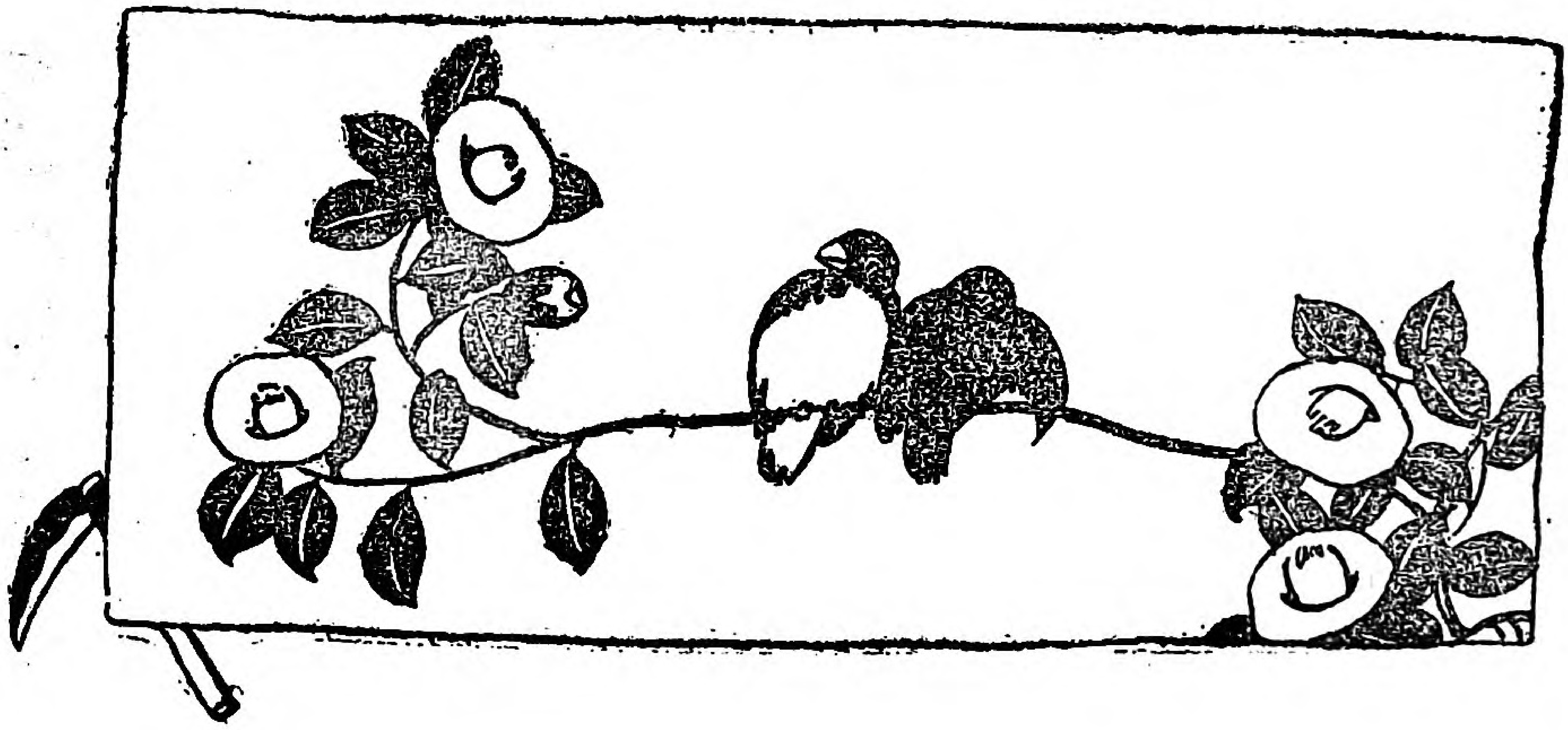
大正十年二月一日發行

○表紙　農家の春……田代紫光筆
○口繪（三重縣大地主婦人大會
　　　（處女會と社會奉仕

◎記事◎

▽卷頭（日の出）……一
▽西洋人の見たる日本婦人及び結婚……二
▽松竹梅の教へ……山脇高等女學校長 本會理事 山脇房子……五
▽改めたい日本の服裝……教育博物館長 本會評議員 棚橋源太郎……七
▽新時代の婦人……本會評議員 高島平三郎……九
▽支那の風俗と人情……海軍少佐 猪瀨乙彦……一三
▽支那小話……一三
▽これからの處女會……內務省囑託 米澤英之……一五
▽若い娘の爲めに（名士の回答）……一八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



▽五人の娘の話……内務省囑託本會理事 天野藤男…三
▽歌人のおもかげ(その二)……ひろの…二七
▽處女で傑かつた娘の話……岡なをじ…二九
▽別れの吹雪……三三
△友情(その六)……深緑…三六
▽台所から……三六
▽お茶の後……四一
▽石川縣河北郡まで……天野生…四二
▽梅の獨り言……四四
▽地方通信……四六
▽托兒所を見て……きよ子…五〇
▽處女文壇……五一
▽處女歌壇……五二
▽處女俳壇……五三
▽誌友くらぶ……五四
▽編輯だより……五七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

内容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田猿樂町三

本月號出來

内務省囑託 天野藤男著

定價八十錢 送料六錢

親愛なる農村青年へ

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町 丙辰出版社 振替東京三三三〇〇番

賜 天覽 台覽

天野藤男著 内務文部兩大臣其他序

定價二圓五十錢 送料十二錢

指導經營研究實績 青年團處女會

◎好評六版◎

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目 振替東京三三三〇〇番 丙辰出版社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

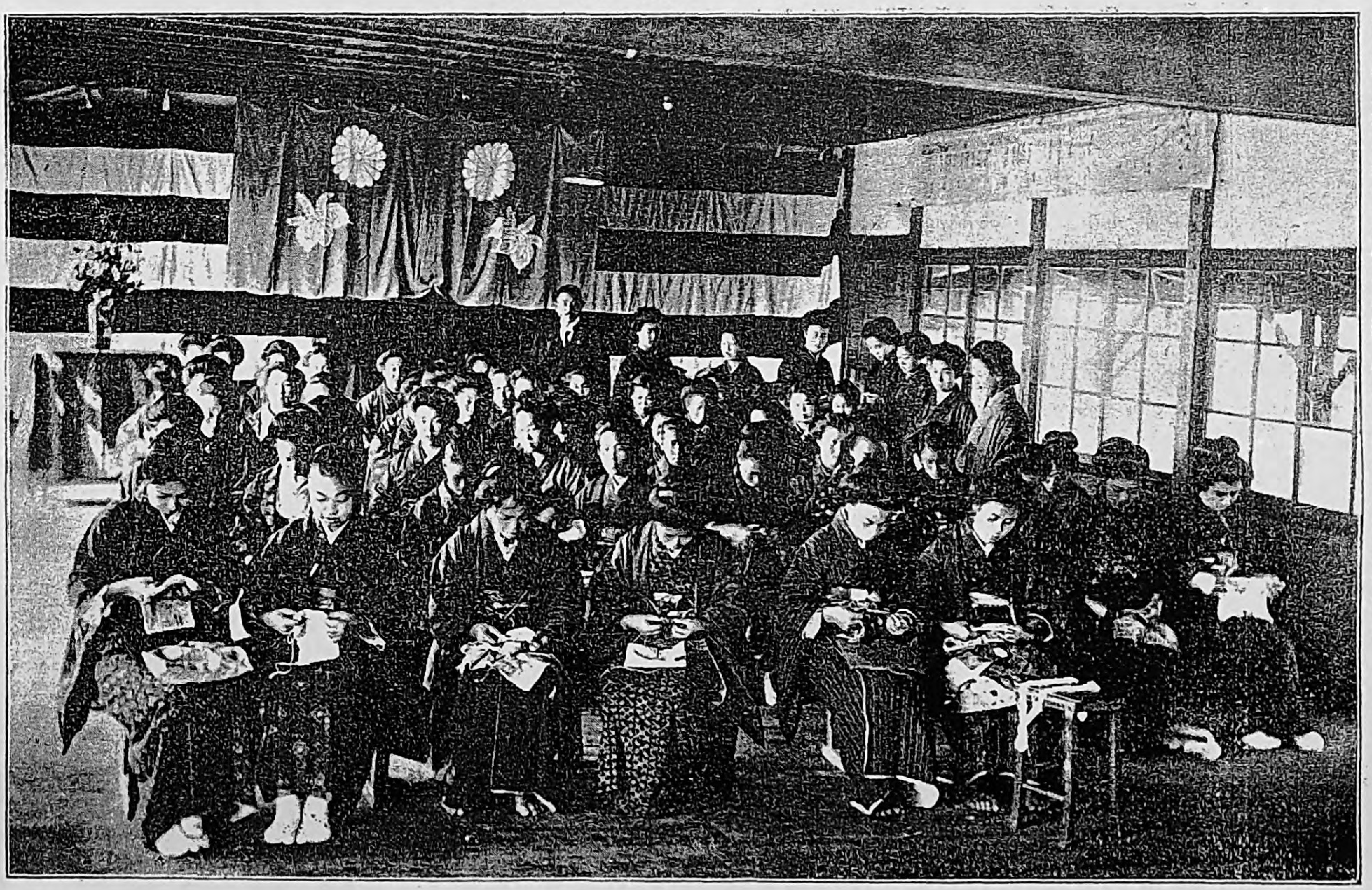
三重縣大地主婦人大會（於津市）

三重縣では、大正九年十月十二日縣下の大地主婦人大會を開き地主と小作人について協議をされました。日本最初の企てでありました。（十二月號をみて下さい）

前列の男子左より天野理事赤松理事官美濃部縣農會長

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會ご社會奉仕

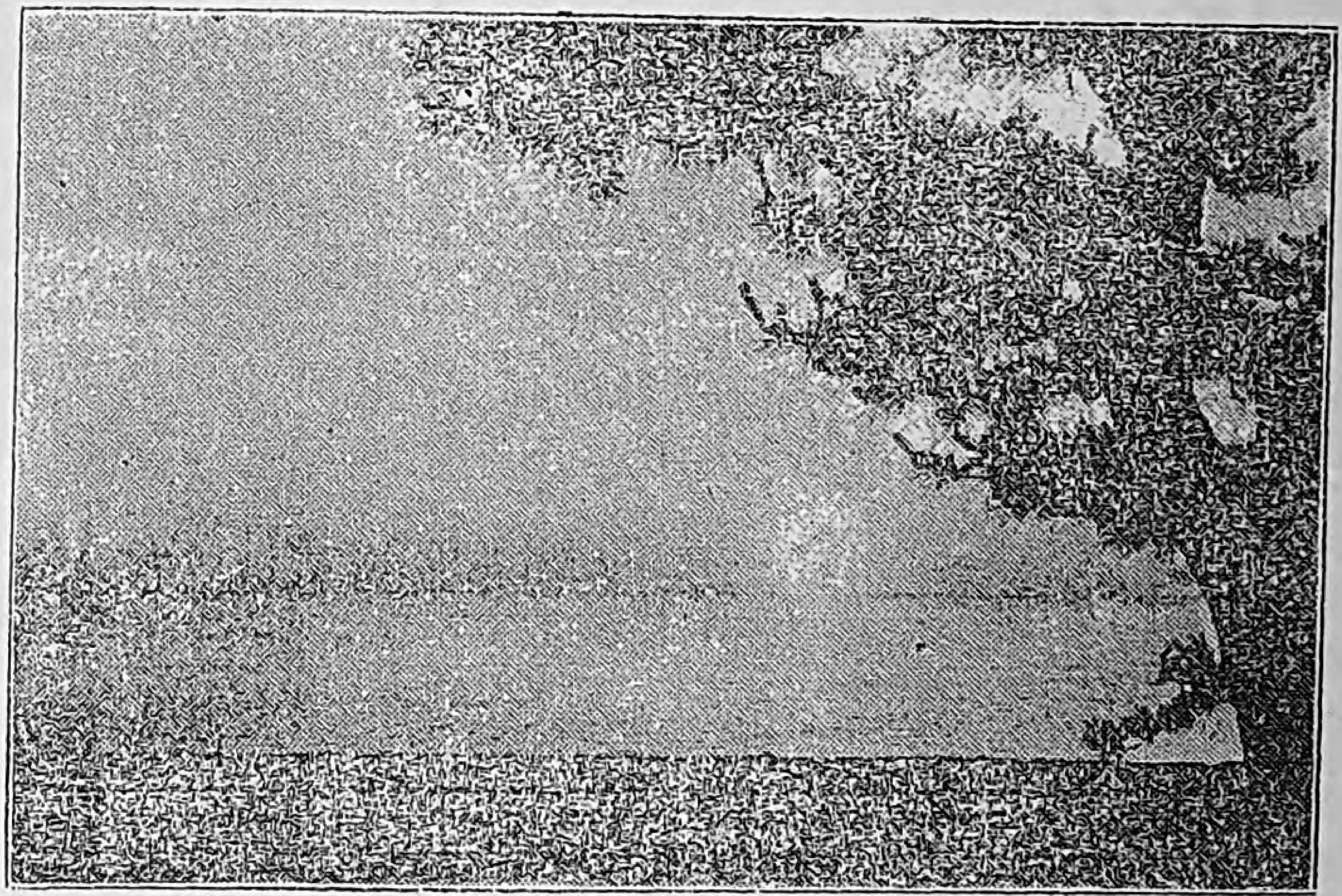


十月三十日、教育勅語御下賜三十週年記念式を擧げ式後各自持寄の古布を以て雑布百二十二枚を縫つて尋常一年級に寄附して社會奉仕の一端としました

靜岡縣田方郡田中村婦女會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

海岸の日の出



見よそのこう〲しさ

處女の友　二月號

明治天皇御製

さしのぼる朝日の如くさはやかに
持たまほしきは心なりけり

今大海原から朝日がさつとさしのぼりそめ、光は一面に海波に反射して何んとも云へぬ眺めでございます。日の出は美しくこう〲しいものです。一點のにごりもない、汚れもない、清淨の心の現れです。どうか私たちも、この朝日のように、にごりない心をもつてゐたいのです。常に心を爽やかに、いき〱と、希望と理想とを胸に滿たしてゐたいものです。山の朝日もいゝが、海の日の出は一層よろしうございます。兎角女は心が狹く、人を妬んだり疑つたりし易いものです、この海のように廣い胸に、優しい涙をみたし、その上に、愛の光を輝かせてゐたいものです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

西洋人の見たる日本婦人及結婚

（一）人の批評もよく聞け

去年の十二月四日に千葉縣東葛飾郡布佐町で六十三歲で亡くなられた爵、理學博士大澤島太郎博士の著はされた日本婦人待遇論と申す書物を手に入れました。明治三十二年八月一日發行ですから皆さんの多くはまだお生れ前に出來た書物であります。その中に外國人が日本の婦人を批評した一節があります。時勢が運びますから當らぬ批評もあるようですが、流石によく缺點を穿つた點もあります。人の批評を聞いて道理と思つたことはすぐ直して、正しい行ひの人となり正しい風俗に向つて進まねばなりません。今どんな批評をしてゐますか二三人の西洋人が感じたといふ點を簡單に申し上げませう。

（二）日本の女は中位

先づヘルウハルトといふ人が評して曰く、

『日本の婦人は、他の東洋諸國に於ける如く、壓制を受けざれども、又西洋に於ける自由の生活を得ずつまり其の中間に位する者なり。女子は讀書、三味線を學び又家政を調理し、單身神社佛閣に參詣し、又湯屋にゆくを得、然れども其夫にして、「めかけ」抱へ入れんと欲するときは、之を拒む能はず、謹で盲從せざるべからず。近年に至り一夫一妻の風は漸く勵行され、又結婚も國情に從ふごとゝなり、婦人に於ても離緣を請求する權利を附與されたれども、一般婦人の位置は、尚未だ改まらずして、畢竟下女頭たるに過ぎざるが如く、夫婦食事を共にすることなく、又相携へて公會場に出入することなく、妻たる者は眉を剃り落とし、齒を黑く染め、以て男子の歡心を迎へざるの儲となす、然れども家に於ては女房（家の妻の義）奥樣（內部の女君）或はお神さん（尊むべき女君）と呼はる』

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一般に妾の位置が下女頭の如しとは、當らずと雖も遠からざる批評である、近年は眉を落したり、齒を染めたりするものは、流石に少いが、然し之を、他の男に心を移さぬ爲であると斷定したのは觀察が非凡である。

（三）男子より美しい

獨逸のエキスネルといふ人の著した「日本」といふ書物の一節に

「日本女子は男子ほど醜ならず、中には、愛らしく、美しき者少からず、項頸、肩、胸等批難すべき所なし。眉毛は濃く、優に弓形を呈し、目は黒く輝き、長き睫毛につゝまれ、口は小にして、眞白き齒並び、手は小にして優美なり。只瑕とすべきは、身體の小なると足の内轉とにあり。然れども、この足の變形は主として下駄を穿つより來る障害なるべければ、靴を用ゆるに至らば治するならん。日本の下駄なる物は、足と同じ長さの木版の下に二本の横木を挾んだるものにて、之を穿つ時は歩行困難なり。」

日本の女子は、男子ほど醜ならずとは、實に皮肉の批評であるが、こう云はれても致し方なからう。身體の小なるが目につくと見える。改良すべきである。下駄の説明も面白い。尚同氏は服裝より風俗の批評をなし、日本の結婚が親が勝手にきめて、本人同志の心を尊ばぬ故に離婚が多いのだと斷定してゐる見合ひを評して、みは見るの意、あいは適するの意であるなどゝいつてゐるのは、日本はだしの説明である。

（四）「結婚は兩親の事務」

宣敎師ムンチンゲル氏は「日の出る國より」と題する著述中に婦人を批評して曰く、

「婦人の資性は古來數百年の久しき等閑視せらるゝの結果に因り著しく劣り、其の觀念の如き、小兒に類せり。而して婦女子は皆顔面に厚く白粉を塗り、唇を紅もて染め、結婚婦人は又齒を黒く眉毛を剃れり。接吻は行はざれども、外見を飾るは歐洲女子に讓らず」

婦人の考へが幼稚で、小兒の如しとはひどい批評であるが、過去の婦人は、こう云はれても致方なかつたのである。

又結婚についても、

日本に於ては結婚の目的を以て男女互に親密に交際することは絶えてなく、偶々之れあらんか、社會は之に向つて鋭き批評を加ふ。故に意氣相投じ、結約する婚姻の如き更に無し。畢竟結婚は兩親が常に一箇の事務に外ならず。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日本の風俗を批評する外人は、皆結婚の不合理を嘆じ、日本文化の低級なる。一證據としてゐるのである。近年目ざめたる青年男女の間に理解し合ふ新結婚の精神が次第に普及せんとしつゝあるは、我等の喜に堪へぬことである。

(五)『結婚は兩親の義務』

ミシオンスブラットといふ雜誌でも日本の婚禮を批評してゐる。

「日本の結婚は兩親の義務にして、新夫婦の意に出でず、男子及女子が適齡に達すれば、兩親は相當の配偶者を搜し、適當の者を得ば、媒介人を立て其事を托し、而して婚禮を擧行する時は、新夫婦は、各々三回三杯の酒を傾くるを以て其の式を了はる。至つて簡單なるものにして、一生の契を結ぶに神聖なる場所に於てするにもあらず、貞節を誓ふにもあらず、神を拜するにもあらず、唯結婚後之を官廳に届出づるに過ぎず、しかも、此の届出も等閑に附し去るの徒なり。」

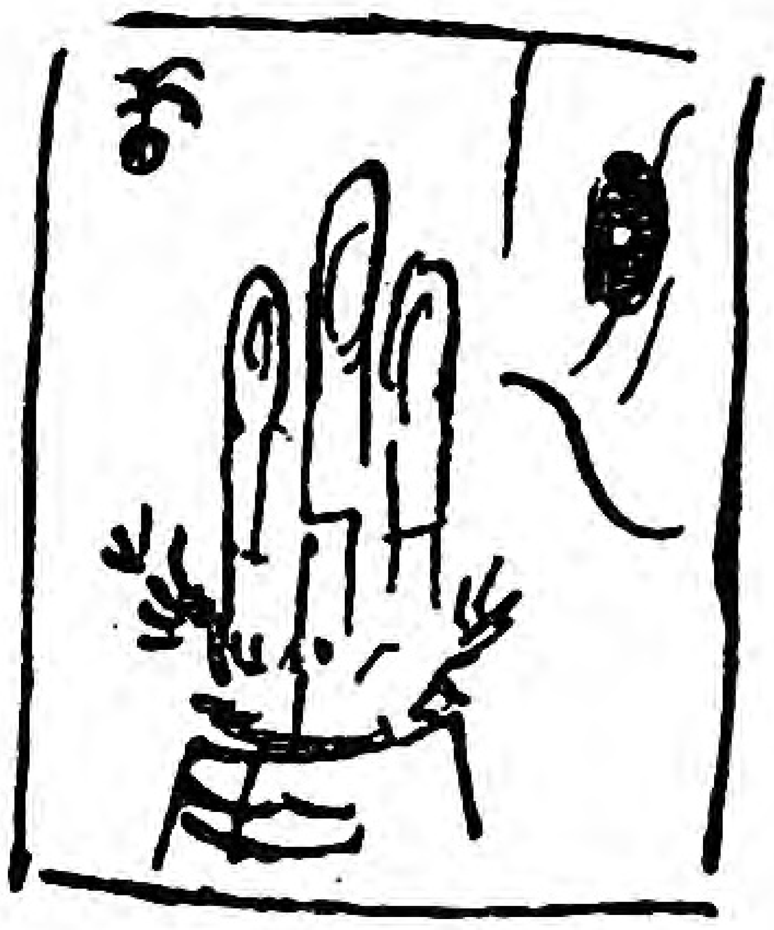
とあるは、他山の石として我邦一般に反省改良を要する點である。近年地方青年會及處女會員の結婚は次第に改良され、新夫妻御眞影を拜して皇恩を感佩し、鄉土の繁榮を誓ふてゐる地方もあれば、校長司會者となつて夫妻の分を宣提する所もある。青年處女當面の問題であるからこの兩者が自覺せねばならぬ。

(六)處女會の使命

要するに諸氏の意見をつゞめて見ると、何れも、日本婦人を以て聰明の精神に合してゐるといつたものはない、固より日本と外國とは全く國の成り立がちがつてゐる。人種も異つてゐる。幾千年來くり返された風俗が一朝に改まるものでもない。日本から見ると、外國人の服裝もをかしく見えるし、夫妻が手を携つて接吻なんぞしてゐる所は下品にも見えよう。

然し日本の婦人が西洋に比べて、從順であり、溫厚でありすぎて、卑屈になり、因循になり、思ふことを言へず、考へたことも發表も出來ずいつも自分の身のまわりや、友達や周圍にばかりに氣を配つて、社會國家のことに心を寄せないといふ缺點はたしかにある。私共のとなへてゐる大正新三猿即ち見猿聞き猿話し猿を發揮して婦人の地位を高めて貰ひたいと思ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



松竹梅の教へ

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

◎自然の教へ

古今東西の聖人、賢士の教へは、學ばんとするに其書得がたく、讀まんとするにその暇なき人が多うございませう。さりながら自然を友として土に親しみ、野を守る乙女が、鍬をもち、鎌を手にして働く、其朝夕の生活の間にも、身を修め、心をみがくために、自然の神は種々の教訓を無言の間に示されて居ります。

山の幹、野の花の一つ一つにも、自然の神の惠みが與へられて、眼に見えぬ神の情、聲なき神の教訓が見出さるゝものであります。その一枝の花、一莖の草の間にも、惠みと慈しみに充ちた神の教への、含まれて居るといふ事を心にとめて、美しくして、貴き無限の教訓を得て、修養に勉むるといふ事は、萬卷の書物を讀むにもまして有益な事であります。

◎萬木に勝れし松竹梅

草も木も枯れ果てし冬の野山に、獨り常盤の色を失はぬ、緑深き松の英姿を眺めては、言ひ知れぬ崇高の念の起るを覺え、又眞直に少しの歪みもなく、直立した竹の姿を眺めてはどうしても心を正さすには居られませぬ、ことに霜雪の中に匂ふ梅の氣高さには何時しか自分の苦痛も忘れて、あらゆる困難を忍ぶべく決心させらるゝものであります。

松竹梅の三つはとりわけ萬木に勝れて、さま〴〵の教訓を人に示して居ますから、私共は松竹梅の特徴を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

充分に知り、その勝れた點に學びたいものと思ひます
松は痩せた土地にでも、岩の上にでも、一度此處に成長しやうと覺悟して、根を下した以上、如何なる荒い風が吹いても、雪が積つても泰然として寒暑に堪え春夏秋冬、常盤の色を變へぬその凛乎たる樣は、誠に婦人の操もかくあるべしと示すが如く見られます。

又竹の眞直にのび内面の純白なるは一點の蟠りなきを示し心中の潔白を表すが如く思はれます。
最後に梅は百花の魁けとして雪にも霜にも撓まず、東風吹く頃には、白玉の如く紅玉の如く、美しき五片の花を開き春を知らするのみならず類稀れなるよき實を結びて人を益する其堅き操、強き忍耐は誠に人の模範となるべきであります。

◎花も實もある婦人となれ

かくの如く松といひ、竹といひ、梅といひ、何れ劣らぬ特長をもつて居ります故に、昔からこの三つを松竹梅と稱へ、芽出度いものとして、年の始めの門松、其他お祝ひ事には、器具に衣裳に、さま〴〵に工夫を凝らして用ひられ、松竹梅の模樣は津々浦々に到るまで見うけられます。

建築物の刻物、又は襖、屏風の繪、果は御祝儀の料理にまでも、松竹梅が應用されて、我國の到る處、野の末島の果までも、松竹梅の見られぬ事は殆んどありません。

これは我が國民がこの松の操、竹の直節、梅の忍耐に學ぶべきために、與へられた自然の敎へであらうと存じます。故に我國の婦人はこの意義ある自然の敎へに從ひ、家にあつては、松の操にならひ、あくまでも婦人の天職を全うして、如何なる困難に出遇つても、確乎として操を守り、又社會に出でゝは、竹の如く直なる心であらゆる人に接して、曲りがちなる心を直すことに勉め、梅の如くに千辛萬苦を忍び人に先んじて善事を行ひ以て後進者の模範たらん事に心がけ、花も實もある婦人となりて立派な第二の國民を育てゝ、立派な國家を形づくる事に、つとめらるゝやう心から望みます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

改めたき日本の服装

教育博物館長
本會評議員　棚橋源太郎

◎和服の長處短處

婦人服に限らず、一般に和服といふものは作業、勞働に適せず、活動に不便ですから早かれ晩かれ、其構造を改め適當な地質をえらぶ必要があります。あの長い袖、ふり、ゑり下のけ出し、半襟等すべて明けはなしの處が多すぎて、とかく肉體が見え勝ちで、其上に上から下まで續いて居ますから、餘分の帶といふものが必要となります。殊に婦人の丸帶の如き巾の廣いもので胸を壓し、幾すぢかの紐で締めるなどは、誠に不便なことゝ思ひます。然し日本服はゆつたりとして、疊の上で休養する時の服裝に適し、ねまきなどには殊に適してゐると思ひます。

◎婦人服の數を尠くせよ

日本の婦人服で特に改めたいのは、あまりに衣服の數が多すぎることであります。既に結婚の際からして衣服の數を多く調へ過ぎるといふ風で、一寸外出するにも其度毎に衣服をとりかへる見榮坊のために自然數が多くなり被服費の負擔が非常に重くなります。

洋服は筒袖であり、下部をスカーツでとりまくゆゑ見える處が少なくて、表着さへよければ下に着るものは、割合に安價なもので間に合ひ、寒くなれば下着を重ね嚴寒の候には厚い外套を着ればすみますから、被服費の負擔が案外少なく表衣一枚新調すれば破ぶるゝまで着通す有樣であります、これを我が邦の一年中に一度か二度用ひる外は常に簞笥の底に幾枚もの着物をしまつて置くとは大變な異であります。和服は又見える所の多いために裏、下着、襦袢の袖、こしまきに至るまで上着に劣らぬ布を要するので洋服の簡短なのに比べては、經濟上非常な相違であります。この活動に適せず、不經濟な且つ非衛生的服裝を改めるといふ事に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、誰も異存のない事と思ひますが、然らば如何にし之を改善するかと云ふ事に成りますと、それには種々の異見がありますが主なる改善方案は左の二つであります。

◎二つの改良案

一つはヨーロッパの服裝をそのまゝ用ひやうとする意見二つには、在來の和服に和服の特色を失はぬ樣に、之を改良するといふ意見であります。

この二つの意見がありますが私の考へでは、改良服を進歩さすれば終には西洋服とほゞ同じ樣なものになりはしないかと思ひます。兎に角此の問題はよほど研究を要する事で一朝一夕には解決出來ず、今後若干年月の研究を要する事と思ひます。

在來の服裝は、貧乏な日本の經濟上に、都合が惡いばかりでなく、婦人の活動能率にも影響して、產業上經濟上不利益なばかりでなく、着物履物等の關係上自然運動不足のため婦人の健康を害し、將來の國民の健康上にも大なる損失がありますから、服裝改良は何よりも第一に考へなければならぬ事と思ひます。

◎衣服地の選擇

織地の選擇は最も必要な事で、耐久力の弱い絹などを裾まわしに用ひ、遠道をすると裾がきれて、歩くより人力車に乘つた方が經濟だなどゝいふやうな、不都合極まる亡國的な衣服は一日も早くやめにして、新興國の婦人に相應した十分活動に堪へ得る木綿、毛織物を選ばねばならぬと思ひます。

我國の人は今までの習慣上、毛織物を非常に高價な不經濟なものの樣に思ひ、絹や木綿を兎角輕く見てゐる傾がありますが、今日は木綿も毛織物も、共に全部海外から輸入して居ります、ラシャの如きは保溫防濕、耐久の力に富み、再製がきゝますから世人の考へるやうに、不經濟なものではありません。我國の勢力範圍でもこれらの品が追々出來る見込もありますから、今後はラシャや木綿のやうな實用的のものを用ひて、絹地のやうな、贅澤品は一尺でも着餘まして海外の贅澤國に輸出するやうにし度いものです。

要するに我國の婦人は、長い袂や帶を廢し、ゑり下のビラ〳〵をとり、活動に適する構造の服裝に改め、外見の美しさばかりに囚はれずに保溫防濕に適する、丈夫な地質のものを選ぶ事に努めなければなりません。そうして必要の無い衣服を省きたいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

新時代の婦人

本會評議員　高島平三郎

〇

今日の日本は、戰爭以來物質上の事が、大變發展いたしまして、外面より見ますれば、如何にも國が盛んになつて、又大平であるやうに思はれます。然しよく〳〵考へて見ますれば、目下の有様は最も危險にのぞんで居て、是より大なる心配な時はないのであります。我隣國であるアメリカも支那もロシヤも、又離れてはオーストリアも全て我國をよく思ひませんで、機會さへあれば我國を壓迫せんとしてゐます。このやうに世界各國から、妬まれ睨まれて居る我國の人は、よくよく考へてこの後の國家の向上と發展とを、期せねばなりません。

この事は決して男子ばかりに、まかせて置くべき事でありませんで、たとへどのやうに田舍に育つた女と雖も、よく〳〵今日の有様を理解して、深き決心を以て各々の修養に勉め、仕事に從はねばなりません。國家の事や社會の事は男子に委せて置いて、女は家の事さへつとめてをればよいと、言はれて居た時代は既に過ぎさりまして、女も男と共にすべての事に心配をし力を盡さねばならぬ時となつたのであります。

されぱとて濫りに女が、政治運動に騷ぎ廻るといふやうな、事は決して賞讃すべき事ではございません。直接に社會や國家の事に當らないにしても、充分世の中の事を知つて、これに同情し、これに共鳴して、よい事はよいとし、惡い事は惡いとして、嚴正に批判する力をもたねばなりません。この點から申しますと、今日の我國の婦人に第一に要求し度い事は、自覺といふ事であります。

〇

眞の自分といふ事を知らずに、只他人のなすがまゝに動かされて、確實の考へのないものは、誠に今日の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

國家を危險に導き、自分もまたその身を過るに至る基となる怖があります。婦人が輕々しく男子の甘言に欺むかれたり、又自分の身の如何を考へずして、濫りに新しがつて、騷ぎまわるが如きは、現代の我國に於て尤も戒めなければならぬ事でございます。今日の婦人は一層痛切に自分といふものを考へて、眞の自分を知り、眞の人となる事を心がけねばなりません。私は今日の我國の婦人は此點が一番に缺けて居ると思ひます

第二には化學の知識の缺けて居ると言ふ事で、婦人の敎育も漸次に進んで參りまして、高等女學校の數も增え、官立の女高師や、私立の女子大學も出來ましたが、然しながら男子に比べて見ますれば、一般に程度が低いのみならず、其學校の價値も少なく、その卒業生の實力も男子に比して、概して低いやうに思ひます家庭を治めるにしても、子供を育てるにしても、婦人に一層深く廣い化學的の知識がなければ、到底充分な事は出來ません。生活改善の叫びは男子によつて叫ばれて居りますが、是等も婦人が自ら卒先して、化學の光を生活の中にとり入れて、着々實行せねばならぬ事と信じます。

○

衣食住に關する化學の知識の薄弱なること以上に現代我國婦人に、最も大切であつて、最も缺乏してゐるのは性に關する知識と兒童に關する知識とであります。婦人が生殖に就いての化學的知識がない爲に、可惜男子の玩弄物となり、一生を過る事が、如何程あるかわかりません。私はこれを實に迷惑に思ひ、婦人にとつて誠に氣の毒な事とも考へます。どうしても現代の處女は生殖に關する事を眞に化學的に理解する必要があると思ひます。子供は卽ちその結果として、生れるのでありますから婦人にとつては、上下の別なく子供と關係を絕つ事が出來ず、たとへ將來生活の形式が如何に變りましても婦人が子供に關係せぬといふ事は出來ぬでありませう。

然るに今日我國の母となつて居る婦人、或は近き將來に母となるべき婦人が、子供に就いてどれだけの化學的知識をもつて居るでせうか。處女時代、嫁入前に支度として、裁縫の稽古をし、料理の稽古をし、茶湯や、音樂の稽古までもいたします。然し結婚の大切な目的である子供そのものに就ての知識を結婚前に準備として習ふものが果して幾人あるでせうか。是等は實

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に我國に於ける最大急務であると思ひます。我國が世界から嫉まれたり、憎まれたりせぬやうに努める事の出來る人を出し、又假令かゝる境遇になつても恐るゝ處なく世界に立つて行く事の出來る國民をつくるのも皆確實なる化學の示す處に基して、立派に子供を教育するといふ事による事でありますから、男女共に子供に關する知識を得るといふ事は、誠に國家及び民族の將來のために、必要でありますが、とりわけ婦人にとつて痛切にこの必要を感ずると思はれます。どうぞ現代我國の處女たちが豫め是等の大切なる準備のために心を用ひられんことを希望いたします。

○

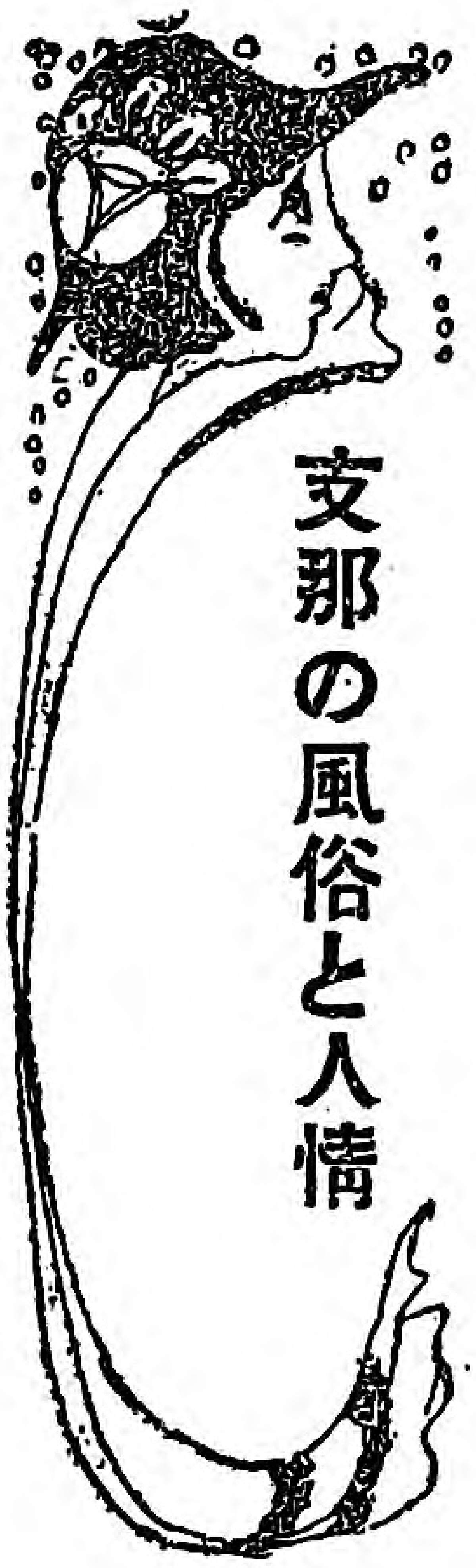
最後に更に大切な事は、我國の婦人が衛生の知識を一層充分に得て、身體の健康を增進せねばならぬといふ事であります。世界の文化國に於て、我國の婦人程身體の薄弱なものはないでありませう、啻に體格の短小なるのみならず、その健康も亦、屢々病氣に犯さるゝ恐れがあります。現に青春の女子が肺結核に犯されて、死亡する者の多い事は、我國は世界の文化國に於て、第一位を占めて居ります。只今國家の大問題となつてをります是等の事も、婦人自ら自覺して食物、睡眠、運動等すべての生活を、衛生に適せしめる事に努めねばなりません。

今日の我國の婦人の大方は、外見の美に憧れて装飾のみを事として居りまして、眞の肉體の發育、强健等の事に心を用ひる人が、極めて少いやうに思ひます。身には錦紗お召の如き外見美はしくとも、直ちに破れるやうな弱い高價なものを、纏つて居る婦人がどうして活潑な運動が出來ませうか、我國中流以上の婦人は、日常の生活を殆んど衣服や装飾のために、支配されて居る狀態であります。これでは到底健康なる身體を得る見込はありません故、此點からも生活改善を實行してゆかねばなりません。

それにつけても農村の處女の方々が、都會の輕佻なる華美の風に染まずに、堅實なる處女の中堅として、强健なる身體を以て、自身の職業に從事し、その職業の中に國家社會の將來の、偉大なる力のある事を自重して、高き希望をもつて、平凡なる仕事を、熱心につとめらるゝやう切望いたします。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



支那の風俗と人情

海軍少佐　猪瀬乙彦

河川砲艦鳥羽艦長として、大正八年四月より、大正九年十二月迄中支那上海、重慶間の警備の任にありたりし、海軍少佐猪瀬乙彦氏は、此度海軍軍令部に轉勤のため歸國されました。
　同氏が本會理事田所氏の義弟に當るといふ事を承り記者は田所氏を訪問して猪瀬氏にお目にかゝり、種々と珍らしい支那の變つた風俗を伺ひました。左にその一節を御紹介申します。(婦人記者)

○團體的でない

私は一年半餘りの月日を支那に暮し、其間に支那各地方の風俗をも見ますし又、支那の人情に接しても見まして、日本人として考へなければならぬ事、又は珍らしい變つた風俗と思つた節々が多うございます。

支那は東洋の祖國、大古文明の中心點として、日本としてもあらゆる智識道德、みな支那の恩惠をうけて居ますが、今は國家の統一が困難で歐米の後進國の勢力に壓されんとする振はない狀態となりました。

この支那の振はない源因の一つとして考へらるゝのは支那人の團結心のない事、人義道德はすたれ、忠孝の念が薄らいだ事であらうと思ひます。國家的の觀念、國民としての公

支那小話

△拂子の起り

印度もさうですが、支那の所謂村夫子は夏勉強する時、蠅や種々の昆虫が多い所から、拂子(日本で葬式の際に僧侶の手にせるもの)をもつてそれらの昆虫を拂ひのけます、それが葬式の際にも用ひられますので、其まゝ日本に傳つて、葬式の禮になくてならぬものとなつたのださうです。

△線香の初まり

印度や支那で大へん蚊が多いので、蚊よけのために線香をたきましたのが、佛敎の方で傳つて日本では佛事に線香がなくてならぬものとなつたと申します。

△鉦鼓の理由

これも佛事の話ですが、佛事に鐘をたゝくのは死人に鐘の音が、聞えるのではありませんが鉦鼓の音で氣分を靜めて拜するその心の落つき

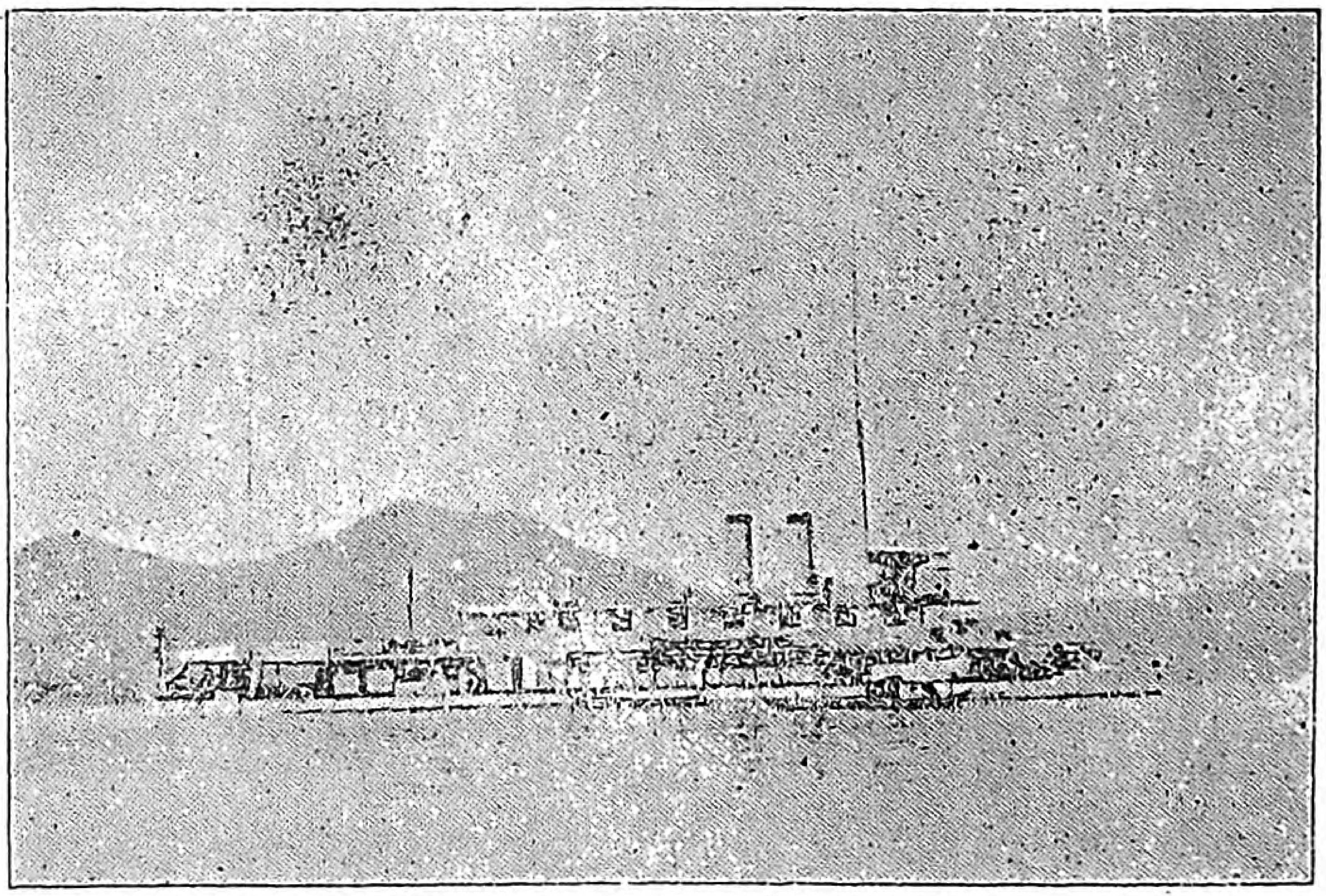
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

共心は誠に乏しくありますが、只々吾々の感心すべきは個人として の修養がつまれて、支那獨特の儒教の道は、今尙國民全體の心に根づよく殘つて美しい人情を見せて居ます

とりわけ朋友間の友情の美しさは到底他の國に見る事の出來ない細やかさで、一日でも交りをすれば、もう永久に友として離れず、一旦交れば相手の人が如何に落ぶれても見捨てず、一しほ同情を以て、憐れみ助け何處何處までも「老朋友」として交り通す有樣であります。

○結婚の風俗

世界中で支那が一番結婚費用を多く費すといふ事ですが全く支那の結婚には多額の金を費します。其中で衣類の調度が大部分を占めて、全部總縫模樣のある衣服を整へます。結納の品の中に鴛鴦か鴨を一つがひ必ず添へる風習で、これは鴛鴦のやうに仲睦まじくあれといふ意味であらうと思ひます。輿入にはお神輿でおくられます。又、支那婦人は髮の毛を糸でぬく風がありまして頭のまわりをきれいに糸でぬきます。



（鳥羽艦）

のために証據を用ひるのださうです。

△支那の挨拶

日本では島國の氣候として雨が非常に多いので日本人民として、今日一日の天候がどうであろかといふのが第一の心配であります、それゆゑ朝まづ顏を合せると、先づ第一に「今日は結構なお天氣で」とお互に天候を心にかけるのであります。それと同じやうに、北部支那は穀物が不作で人々が三度の食事をといふのが何よりも心にかゝることで朝顏を合せると先づ「朝御飯すませましたか」と尋ねるさうです。又シベリアのやうな寒い處では凍傷といふ事が最も苦しみの種で朝人の顏を見ると第一に「汝の鼻に注意せよ」といふのが挨拶ださうです。

△涙つぼの話

何事も形式た囚れる支那の風俗としては最も面白い事は涙つぼの話であります。それは墓地に二つのつぼを並べて未亡人が、其中に無理に涙を流して、そのつぼの中に少しでも多く、涙の溜ることを貞女の誇としてゐることです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

男女七才にして席を同じうせずといふ事は今尚表面の形式では嚴守されて居まして、重慶にある大きな糸屋がありまして、その女工が糸の目方を計つて居る側に腰かけて、目方が幾許あるかと聞く事さへ男子として恥づべき事とする有様であります從つて結婚に際しても本人の意志といふものは、絶體に用ひられず親と親の約束である事はいふまでもありません。

面白い事には結婚の翌日近憐の人が集つて、花嫁の缺點をある限り見つけて、口々に花嫁の悪口をいふ事であります。それは嫉妬深い支那人の氣質として、その新郎に安心をさせるため、後日その新婦を他の男子が愛するといふ、憂ひのないためださうです。

○形式に囚はれた葬式

形式に囚はるゝは支那の通弊でありますが、特に葬式の際は表面に嘆き悲しみの情を見せて、人の前で殊更に聲を大きくして泣いて、家に歸つてはけろりとするといふ風で、殊に夫が死んだ場合は妻は殊更に悲しみを人に見するを手柄といたします

燒香の代りに、紙で、一厘錢の形を作り、それをもやして靈に供へる風習ですが、其煙を眺めては、恰も生ける人に言ふが如く、空中の靈に向つて、生前はどうであつたとか、死後の事をどうしやうとか、あらゆる悲しみの情を訴へて泣き叫びます。

○實社會に適せぬ教育

支那は漢學の本元だけに、所謂「村夫子なるものが、どの村でも儒學を以て勢力を占めて居ます。古から傳へられた處の孔子、孟子の教へは今なほ嚴格に鼓吹されて、表面に見ゆる所の、禮、智、信等の修養に就いては、やかましく云はれて居ます。然しそれが皆實社會と沒交捗で、形式にのみ囚はれて、實用的の學問ではありません。公共、公德等の社會道德は全く養はれて居りません。團體的の訓練が如何に國家盛衰に重大な影響を及ぼすかといふ事を考へて支那の今日の有樣に鑑みて、人のふり見て我ふり直すべく、日本としても、反省しなければならぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

是からの處女會

內務省囑託　米澤英之

○

農村の實情に鑑みるに、女子敎育程微々振はないものはない。甚だしい人になると、女子の敎育すべき必要を認めず、唯々實業の實習作業の一般、衣服の縫ひ方裁ち方が出來れば、最早一人前の女子である樣に思つて、女子も社會を構成して居る一員であると云ふ廣汎な意味で見て居らない。而して斯る意見に對して女子其物も、何等の不思議も思はず今日に至つて居るのである。

然るに女子位智德體三方面の修養の必要なものはないと自分は信じて居るのである。斯樣に女子修養機關の備はつて居らぬことは、確に我が國敎育界の缺陷である。

誰も知つて居る通り、我が國は家族制度を以て立つて、家庭が國家の基礎となつて居る。それで、國家の進運は家庭の充實、家庭の繁榮に俟つ所が多大であることは疑ふ餘地のない事實である。而して家庭に於ける女子任務の重且つ大なるは贅言を要せぬ。彼婦人品位の高潔で淑德の譽れある家庭は、家政齊ふて家業が繁榮して居る實際を目擊する。

尙ほ歷史に徵しても、古來名を成せる聖人君子、或は事業家政治家の內面的幫助を考察するとき、婦人內助の事實が躍如として輝いて居ることを發見するのである。

斯樣に圓滿なる町村の發達、國家の進展は歸着する所家庭の充實に外ならぬ。

○

刻下時代の趨勢は、我が國を危機に導きつゝある樣に見られる。戰後各國の經營は競ふて國力の充實、民族の發展、利權の獲得に汲々たる狀態で、東洋は將に爭覇場たらんとする窮地に陷穽しやうとして居て憂國の士は等しく邦家の前途を杞憂して居る。

故に擧國一致、國家百年の大計を劃策し、怠氣を去り迷夢に醒めて新しき生を求め、連綿たる皇統、金甌無缺の國體をして一入光輝あらしめるの自奮自鬪の決意を促して止まぬのである。斯る多端なる國家に居ては、高枕太平を謠ふて居る譯に行かぬ、如何にしても家庭の革新より國家に及ぼす所がなくてはならぬ。

○

此家庭振興の第一步は實に子女敎養の徹底にあることを疑はない。爾來我が國の社會敎育施設は、男子に關係したものが多く、結果に於ても女子の會合に比較して、優秀な成績を示して居る。此婦人子女の指導缺陷は、次ぎに國家的缺隙を生じて居る。元來女子は一家の敎育家治政家の權威者で、是等問題を圓滿に解決することの出來るものは、現在の女子中僅少であるこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

とは間違なき事實である。

○

故に家庭の革新は女子品位の向上であるが、現代の主婦其者に直接期待する事は困難であるから、次代の後繼者たる處女に圓滿なる修養を積ましめるの施設は最も肝要な事柄である。處女なる者はよく國家の將來を慮り、未來に於ける家庭の權威者たる事を自覺して、進んで個人的又は團體的修養に燃ゆる希望がなくてはならぬのである。總べて人を導くの方案は其缺陷の上に指導大綱を定めることは最も肝腎である。

○

今試みに農村子女の著しき缺點を調べて見ると、

1．智識方面

△實業科に關する知識が特に乏しい

△常識に乏しく世を理解して居らぬ

△衞生的知識なく特に食料觀念がない

△自治的觀念に缺陷がある。

△知見を廣める樣な講演講習會の出席を嫌ふ、換言すれば向學心が一般に缺けて居る。

2．精神方面

△他人の成功利達を嫉む風がある。

△着實溫謙の美風が漸次衰亡して來た。

△依賴心強く虛榮心が旺んである。

△思慮なき無責任の言語を發することが多い。

△敬神崇祖の念が輕薄となつて來た

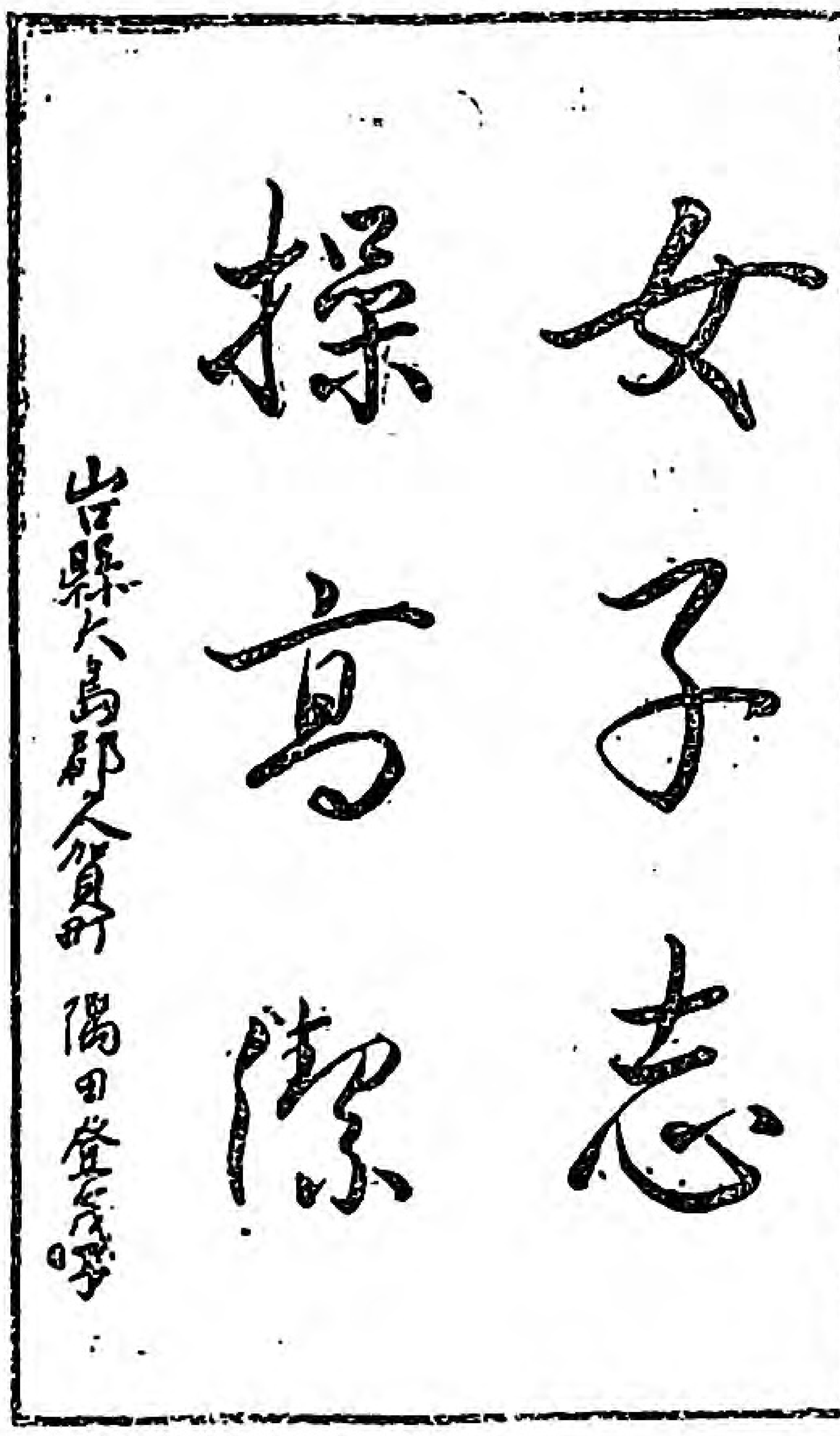
△個人思想強く團體的觀念が乏しい。

3．體育方面

△自己の身體狀況を割合知つて居らぬ。

△戶外運動を好まぬ風がある

△體育的施設の會合に出席するものが少ない。



入賞

以上は漫然自分の頭に浮んで來た問題であるが、些細に研究したときは、いろ〳〵是等の大綱を分類して實際化した具體案を得らるゝのであるが、それは後日發表することゝして、今は大綱に止めて置きたい。是等の缺陷を列擧して見ると、玆に自然に處女指導の計畫が浮んで來る。

如何なる方面から處女缺陷を觀察しても、知識程度の低い爲めに日常萬端に缺點あることは悟ることが出來るが、去りとて直ちに義務教育終了者を實業補習學校へ入學せしめて、學習せしめることは、實情から見

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

て如何にも至難のことであるから、小學校卒業者をして實業補習學校へ入學せんとする意志を起さしめ、一般も共必要を感ずる様にする準備的教養方案を立てなければならぬ此意味よりして、私は處女會を組織して修養會を開設することが至當の様に思はれる。毎月一日十五日は大抵の町村で、休養日となつて居る。斯樣に町村一般に休む半日を一ヶ月に二回若くは三回でも會員の希望に依つて、小學校又は公會堂、村倶樂部の相當監督の嚴重なる所へ集合してお互の修養を積むのである。

修養と云ふと、直ちに見識者を聘して講話會を開くことの樣に、是迄で地方に誤解せられて居つたが、勿論夫れも一方便であるが、それよりも一町村の處女が一會堂に集まつて、いろ〳〵の弊風を矯正することを約して實行に努めるとか、或は自分等の勞力を公共慈善の事業に捧げて、世間の公共心慈善心に刺戟を與へるとか、時には共に一日の清遊を試みて浩然の氣を養ふと云ふ事を行つてよろしい。

總べて私等は個人で、修養に勉めると云ふことはなか〳〵六ケ敷い事であるから、こゝに團體の力に自己を訓練することは、最も肝腎の事である。尤も一事實行一日一善、紀念日の設定等の主義もあるが、該主義としても個人で實行するよりも、團體の力で實行した方がより多く本旨に副ふのである。斯る處女の力によつて生きて居る修養會を組織せられん事を希望して止まないのである。

小學校卒業者が此の自治の團體で、實際的な而して自己の要求と適應した修養を積んだならば、是等の處女が主婦として活動する時代には、期して俟つすべきものがある事を確信するのである。

序に處女會の此修養會で實施してよいと思ふ事柄を列記して筆を擱き詳細は次號に譲りたい。

修養會

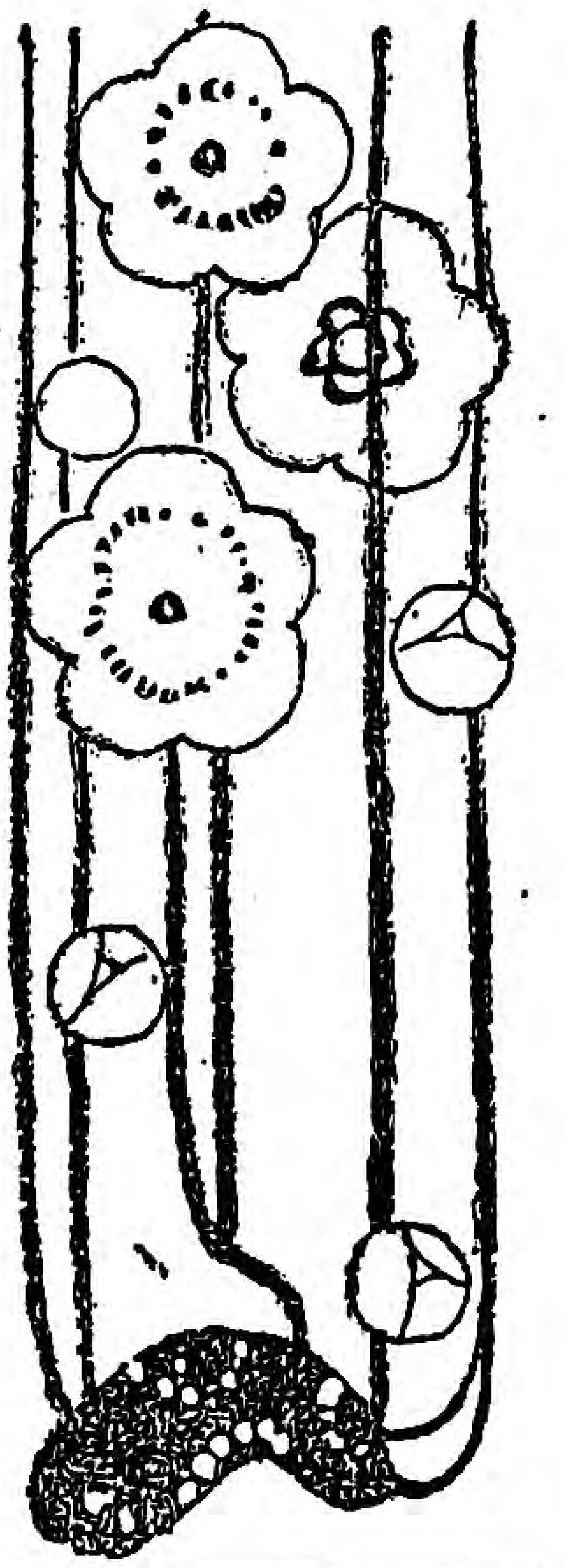
一、實務

談話會、講演會、婦人雜誌の巡回、見學、實習（家事實業）、講習會へ出席、副業の調査實施、慈善事業の幇助、貯蓄の奬勵、共同事項の勵行、遠足、運動會、手技廢物利用の展覽會、生活改善の發表、家庭實務の研究、生活問題の調査、臺所の整理競技會、母姉會、敬老會、謝恩會、視察員派遣、傳染病豫防の助力、娛樂會、

一、制定設置

會員手牒、會員徽章、團體の綱領、會歌の制定、出席簿作製、在會狀況記入簿、會誌、事業計劃表、會員名簿、公文書綴、會計簿、發送件名簿、會則、役員名簿、俱樂部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



若い娘の爲めに

現今の若い娘を名士方は、どんなにお考へなさつて居られるでせうか。又處女會員が朝に夕に心の掟として服膺しなければならない敎訓や格言や其他の事についてお伺ひ致したいと思つて、中央部では、本會理事は固より、評議員や學者や、政治家や、又本會と特に御縁の深い地方の處女會長の方々などに、御照會を發しまして左のような御答へが參りました。到着の順にかゝげます、皆さんは、よく名士方の御意見を心に留めて修養の資料とせねばなりません。

一、現今の若い娘の缺點と思はれる點を御示し被下度但し都會又は農村に於ける處女の缺點等區別して御意見御洩らし被下度候

二、處女會員の日常服膺しなければならぬ歌又は敎訓格言等

若竹と呼ばるゝうちも少しかな
永き日たかう動けとや水車
憂きことになれて雪間の嫁菜かな

文部省囑託　山本瀧之助

一、これは獨り農村に於ける、處女の方々ばかりではありません、青年の方も同樣でありますが、青年とか處女とかいふ聲が高まるに連れまして、先づ内に根を下す筈のものが、兎角心を外に走せて、芽を先きに出したがる嫌があるやうに存ぜられます。處女會の施設とか事業とかいふものも、成るべく家の數名の内に求めたいものと思ひます。

二、笑ふ門には福來る。

三、勞働は神聖である
人間は働く程愉快なことはない
人間の働くのは天職である。

三重縣農會技師　美濃部鏻次郎

一、科學的の智識に乏しき事、

二、自分の能力を自覺せぬため、折角の勞働能率が割合に效果が少い事

三、衣服其他の裝身に虛榮の新を競ひ家事や農事には舊慣を墨守して改良の念に乏しい事

文部省督學官　乘杉嘉壽

一、全國都鄙を問はず、現今の若き娘の缺點は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

イ、意志の薄弱なること
（他より誘惑せらるゝの虞あり）

ロ、華美に流るゝこと
（他を誘惑するの虞あり）

ハ、向學心に薄きこと
（文明國の婦人たること能はざるべし）

右の三點は其の最も著しきもので、歐米の若き娘と比較する時は雲泥の差であります。

二、昭憲皇太后の御製

確志

ひとごゝろかゝらましかば白玉の眞玉は火にも燒かれざりけり

日本女子大學校長　麻生　正藏

一、都鄙の差別なく現今の若き娘の缺點と思はれる點は種々あるべくも、餘りに自己本位に陷り、自分の權利を主張し、自分の快樂を追求するに遍し、團體奉仕、社會奉仕の精神に乏しいのがその最たるものであると考へられます。

二、自敬奉仕

內務省囑託　生江　孝之

一、現在の處女中には、貞操觀念の鞏固ならざるものあるやの觀ありこは風紀上我國現時の一大問題であるが、社會的には團體的制裁を加へ個人的には宗敎的情操を養ふてこの惡弊の矯正を必要と認める。

尙都鄙共に虛榮に流れ奢侈に陷るの弊あるやうに思惟せらる。

二、明治天皇御製

世の中は高きいやしきほど〳〵に
みをつくすこそつとめなりけれ

昭憲皇太后御歌

かへり見てこゝろにとはゞみゆべきを
たゞしきみちになにまどふらん

內務省囑託　今井　兼寬

一、現今の若き娘に、若しも缺點がありとすれば、これは主として女子敎育の缺陷の反影かと存ぜられます、日夕出逢ふ女學生の袴の紐の駄羅しなき結び方を視て、ひそかに眉をひそめて居る一人であります、一事が萬事ではないとしても兎も角も不確實、不徹底の嫌があるやうに思はれます。

二、金剛石の御歌

むつとしてもどれば庭に柳かな

柔能く剛を制す。

東洋大學敎授　高島平三郎

一、忍耐の心が足らず始めから樂をしてよき地位を得やうと思ふことを

二、あすも亦朝とく起きてつとめ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ばや
窓にうれしき有明の月

富士瓦斯川崎工場長　遠藤　宗六

一、都會の娘、何事にも奥行淺く擧止態度に情味の足らぬ樣思ひ候
農村の娘、都會かぶれして、質實溫健の氣風段々に薄らぐ樣にて心細く候。

二、明治天皇御製
目に見へぬ神のこゝろに通ふこそ
人の心のまことなりけれ

昭憲皇太后御歌
世の人の心は千々に變れども
誠一つはかはらざりけり

希望主幹　後藤　靜香

一、都會　一般に體力も心力も餘り弱すぎはしないでせうか、
農村「實用、々々」といはずも少し普通教育の程度を高めたく存じます、
全般情操の缺陷を認めます。

二、潔きは處女の力なり
＝肉體、言語、行爲、思想の純潔＝

內務省宮內省內閣囑託　國府　種德

都會の處女は輕るやかにすぎて、淡雪の如く、農村の處女はこまやかにすぎて、雨雪のごとし。消ゆるにやすくはれやらぬは心元なし。
處女會員にのぞましき歌は「いそがずばぬれざらまじを旅人のあとよりはるゝ野路の村雨」

岐阜縣坂ノ東處女會長　島田　敬三

一、田舍に於ける現今若き娘の缺點
（イ）健實の精神に乏しい樣に思はれます。
（ロ）稍放縱なる生活を好む樣になつたと思はれます。
（ハ）自覺といふものが殆ど無く勉學心が缺けて居ます。
（ニ）男子にくらべて遙かに敎育程度が低い樣に思はれます
（ホ）獨立自營といふ心が薄い樣に思はれます。

二、昭憲皇太后御歌
磨かずば玉の光は出でざらむ
ひとの心もかくこそあるらし

靜岡縣富士郡須津處女會長　影山　勝

私の小天地內の觀察では（主として農村處女）餘りに其缺陷を認めません。勿論一局部には所謂虛榮ハイカラ輕佻、猜忌、嫉妬等の忌はしい空氣の、浮動せるを觀ないでもありませんが、夫等の缺點は一面環境の罪かとも思はれます。要するに現代婦人の弊害は指導者及家庭の努力

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の缺乏も一原因であると愚考致します。斯の救濟策として當事者の奮起は勿論、雜誌新聞其他の宣傳普及と共に上下一致猛然起て指導誘掖の方法を講じたいと思ひます、大隈侯が「日本婦人は世界第一の勤勞家なり」と謂はれたことに共鳴します。

二、裏表あること多き世の中に獨り倣はぬ富士の山哉、精出せば氷るひまなし水車、何のその岩をも透す桑の弓

大妻女子技藝學校長　大妻こたか

一、現今都鄙を問はず男女を論ぜず、己を信ずる所謂信念に乏しきを憂ふるものに有之候此際國民道德と宗敎道德とを基礎として、自信力を養ふ事が肝要で且つ急務と存じ候

二、前項に資するため常に恥を知る行爲主要と信じ候。

救世軍大佐　山室軍平

何んとかして若い娘達に基督敎にもとづける自覺を與へ一切の誘惑に勝ちて、眞直に人の道を行ふやうなさせたいものとたのみ、私の彼等に對する願ひである。

内務省囑託　牧野虎次

一、現今我邦の若き娘の一般的缺點は自信力薄く、理想高からざるにあり。これ元より彼等を責むべきに非ずして、其家庭と其境遇の罪たるは申迄もなし。畢竟女子を以て男子の附屬物と見做しつゝある男本位の世の中の當然たる現象なるべし、世の風紀に志あるもの此根本問題に觸れたる解決を與へざるべからず、要するに女子敎育の根本義を刷新し女の女たる人格の自覺を出發點とせざるべからざるなり。

二、形體の美よりも動作の美を尙び、動作の美よりも心意の美を尙ぶなり。

女子學院學監　三谷民子

一、早熟

都會と農村の別なく、處女の早熟は肉體にも精神にも强さがありません。從つて誘惑に落ちやすくいつもグラ〳〵致して居ます。

二、まどひに入らぬやう目を醒しかつ祈れ」

廣島縣長塚處女會長　大谷保

一、現今農村に於ける若き娘の缺點

1. 退嬰主義にして進取的ならざること、
2. 虛榮心深く嫉妬心の强きこと
3. 研究心に乏しく殊に讀書趣味を缺けてること。

二、汝の生涯を愛さば時間を徒費するなかれ、

1. 手の皮を厚くするを希ふて面の皮を厚くするな、
2. 踏れても根强く忍べ福壽草やがて花咲く春は來るなり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

五人の娘の話

天野藤男

（一）

ある晩ある所で、めい〳〵職業の異つてゐる菊子、花子、静江、君子、房江といふ五人の娘が一所になつていろ〳〵身の上話しを致しました。私は襖一つへだてゝのぞきながらそつと聞きましたそのまゝをかきます。然し途中から私はきゝましたので、その前にどんな話しがあつたか知りません。先きに口をきつたのが農家の娘の君子でした。

『ほんとうに皆さまはお仕合せね、私なんかごらんなさい、この手を。ヒヾとアカギレばかりですわ、お正月だとて碌々休むことも出來ませんし、休んだとて別に是ぞといふたのしみもありませんわ、淋しい〳〵田舍ですもの、時々美しい町のお孃さんたちを思ひ出しては、どうして神樣はこんなに不公平かとつく〴〵悲しくなることがありますよ』

君子がこういひますと、ほかのものは、てんでに自分の指を見つめてゐましたが、なるほど君子のような手をしたものは一人もありません。其ばかりか、ほかの娘の手には、指環が光つてゐます聲がとぎれた、不思議と思ふてゐます。

（二）

うつむいて熱々聞いてゐました花子がこんど口を開きました。

『ほんとに君子さんの仰言るとうりよ、同情しますわけれど私もつまり農業よ、海の農業よ、ごらんなさい、朝夕潮風に吹かれてゐますのでおはづかしいこんなに顏が黒くなつて、時々鏡に向つては、胸をかきむしりたいように思ふことがありますわ、けれどどうしようもありません。祖先から海岸の漁師で暮らして來ましたので、みんなして漁業をしてゐますの、然し東京の美しい婦人雜誌なんかみますと、ほんとうに悲しく思ひますわ、君子さんのように、つく〴〵と古里がいやになりますよ、こうして若い花盛りを濱にすごしてしまふのかと思ひますと、ほんとうに私し……』

聲がとぎれた不思議と思ふてゐますと、花子はしく〳〵泣いてゐるので

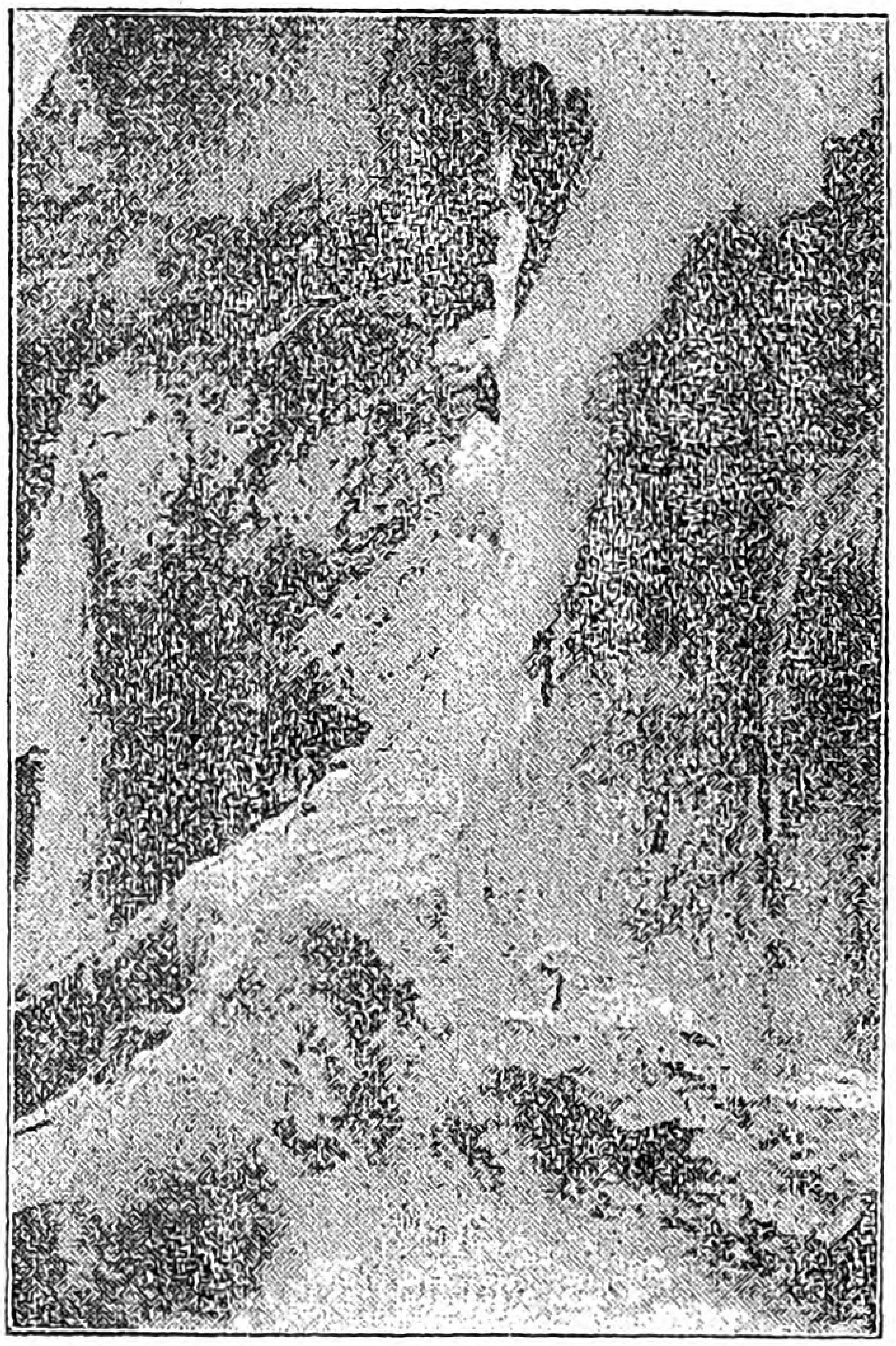
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

すほかのものも貰ひ泣きして袂を顔にあてゝゐましたが、さつきからヂッと火鉢を眺めるようにしてきいてゐた靜江は、その名のようにしづかに落ちついて語り出しました。

(三)

『君子さん、花子さん、少しおまち下さい、あなた方はさつきからヒビアカギレでいたむとか、顔の色が黒いとか仰言つて身の不運を嘆いてゐらつしやいますほんとうに御同情致します。いかにも私なんかまあ仕合せでせう、女中を使つて何一つ不自由のないくらしをしてゐられる身分に生れました重いものも持ちませねば、寒い風にも當りません。別に稼ぎませんでも、着物も身のまわりのものも順々出來てゆきます。けれどもね、君子さん、花子さん、人の仕合せは、うはべばかりではわからないものよ、私しどもは、どんなにかあなた方が羨しいでせう、と申すと、口から出たらめをいふとお思ひかもしれませんが、ほんとうですわ、其よりか人の一番の仕合せは、平和といふことですわ、さう思ひますわ、家仲睦まじく親子兄妹愛し合ひ、信じ合つてゆける家の人となることですわ、貧の病が一番つらいと申しますが其よりつらいのは、一家不和の病よ、我が恥をさらすようですが私なんか、毎晩やす〳〵とねむつたことはありませんわ母がちがつてゐましてね、私し十二の時に母に別れましたのよ。其からといふもの

断美溪の奇勝



(石見國にあります)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

はどんなに悲しい思ひをしたことでせう。今でも思ひ出します、こんな雪催ひの夜に、そつと家をぬけ出で、お母さんのお墓に泣きにいつたことがありましたわ、けれど妙なものですねお腹ちがひの妹が非常に優しいたちでしてね、姉さん〳〵といつてなつきます、私しが泣いてゐますと、どうして泣くのといつては、自分も泣くのです、悧巧な子ですからね私しと母との仲を知つてゐるのですわ。そしてね「姉さんお母さんのことでせう、ほんとうにすみませんわね、お母さんに私し、おわびしますから御機嫌直してちようだい」なんか申します、私しはいぢらしくて思はず、妹をだきしめますの、するといつもそんな所を母にみつかりまして、ガンぜない妹をそゝのかしてわるい智慧をつけるといつてはまたこわい顔なさるの、私しつく〳〵考へますわ、人間はどんなに美しい家に住まうとも、どんなにおいしいものを食べようとも、一家の平和が得られませんと何んにもなりませんわねえ。』

靜江がしんみりこう語り出すと、涙にもろい娘たちの事ですからたまりません。みんなしく〳〵としやくり出しました。君子と花子とは、抱き合つたまゝ泣いてゐます。

（四）

鼻たかみながら話し出しましたのは、菊子です。小柄な目のパツチリとしたいゝ娘です。

『みなさんのお話にひきつけられて、思はず胸が一ぱいになりました。どなたのお話もみんな御尤ですわけれどみなさんには、御兩親がゐらつしやるのが羨ましいのです、靜江さんは後の母さまの爲に御悲しみですが、私なんか、ふた親ともないんですわ、小さな時に別れまして、其からは、叔母の所に厄介になりましたが、叔母がはやり病で亡くなりましたので、奉公に出ました小さな時分。お屋敷奉公なんぞと申します、と何といふいゝことかと羨ましく思ひましたが、いざなつてみると、苦しい事ばかりですわ二三度其から其へと變りましたが、奥様がよければ旦那さまのおつとめがしにくい、御夫婦とも御深切のときには、朋輩へのつとめがむづかしく、隨分人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

知れず涙を絞つたことがございます。けれど、家へ歸つても兩親もありません、嫂に心配かけるのもどうかとう〳〵泣きながら、辛棒して今年やつとおひまが出て歸りましたが、是からお裁縫でも習つて一人前にならうと考へて居ります。みなさんの御苦勞も御察し致しますが、其でも御兩親なりお父さんがゐらつしやるのが何よりの御仕合せですわ。ときどき私し昔の夢をみましてよ、此がお母さんよ』

といつて袂から出した母の寫眞にみんな鳩のやうに額を集めてみ入つてゐます。

『してみると、どなたも〳〵私は仕合せだと仰言る人はないんですね、私しお百姓の娘で滿足しますわ却つて氣樂かもしれませんわね』

といふ君子につゞいて、

『私しも漁師町の娘で通しませう。考へてみれば、みなさんのお話のとうり、誰にも其相應の苦勞がありますのね、房子さんなんか一番お仕合せと思ひましたのに、始終悲しんでゐらつしやると伺つて私しつく〳〵と悟りました。丈夫で仲よく暮らすことの出來る私はほんとうに仕合せです。只なれてしまふと、そのよい所が目に見えず、つい他人樣を羨ましくなるのです。もう〳〵決して他人の身の上を羨みますまい。あの廣い〳〵海原を相手に、細いながらも天から惠まれた仕事をたのしみませう。』

花子もすつかり悟つて、目は希望に輝きました。最初から默つてうつむいてゐました菊子がこの時やつと話し出しました。

『私しみなさまのお話を伺つて、みなさんがみんな羨ましうございます、世に私ほどあはれのものはありませんわ』

『其はどうして?』

と靜江がきゝますと、

『私には、兩親も揃つてゐますし、家庭も仲睦じく圓滿でございます、其に、財産も少しばかりありますので、生活に不自由はありません。けれどもみなさまおはづかしいのは、私し病身ですの、年頃になつてもみなさまの樣に元氣に心がもてませんのも是が爲なのです、よいお醫者にかゝりますがどうしてもなほりません、結婚の話しもございますが、夫に苦勞をかけるのがいたはしくてみなお斷りしてゐますでも年ばかりとりまして、時々ゆく末を考へて夜中ねむらないこともありますわ、ほんとうにみなさんは御仕合せですわ、どんなにお金があらうとも、身

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

分がよからうとも、身體が弱ければ、生涯涙の中に暮らさねばなりません。平和な家庭も仕合せのことですが、其よりは、身體が第一ですわ。』

菊子のしんみりとした打明話にみんなまた沈んでしまひました。外は靜かですが、時折りゴーッと木枯しが吹きつけ、雨戸がガタ〱鳴ります。

『ほんとうに菊子さん御氣の毒ですわ、けれどもね、まだお若いんですもの、御養生なすつて下さいね、きつと〱直りますわ、私たちがお祈りしませう』

靜江がこういひますと、みんなの心は思はず一つになつて、氣の毒な菊子の爲の祈りました。菊子は泣いて感謝しましたが、

『ありがとうございます、私しみなさんからさう溫いお心でして下さると、もう死んでもいゝと思ひますわ、其からみなさんにお願ひがありますわ、けふこゝへ來ました方々は末永く姉妹の契を結んでお互に祈り合ふことにしませうぢやありませんか。人は、ほんとうに愛してくれる人が一人あればいゝとか申します。こうして今晩身の上を打明け合つたのも宿世の緣でせう、是からは、ほんとうの姉妹となつて、苦樂を分け合はうぢやありませんか。』

『私しも御願ひです。是非さうして下さいな。何でも打明けて親しくして下さいね。人は誰でも姉妹になれるんですが、其をわざと疎遠にしてゐるのですわ僞りや、嫉妬やそんなものゝない世の中をつくりたうございますわねえ。』

（六）

五人はとう〱一つ心になつて是からは何でも打明けて悲しみ樂しみを分け合ふことを契ひました。どこにあるのか時計が一ッ二ッ三ッ……數へてみると十一時です。雪でもふり出したらしくさら〱と女の髮の毛の障子にさわるような音がします。

『今夜はもうおそいのよ、みなさん今夜はこゝでひとつに寢ませう。』

『さうしませうね、きつと〱いゝ夢がみられるわ。』

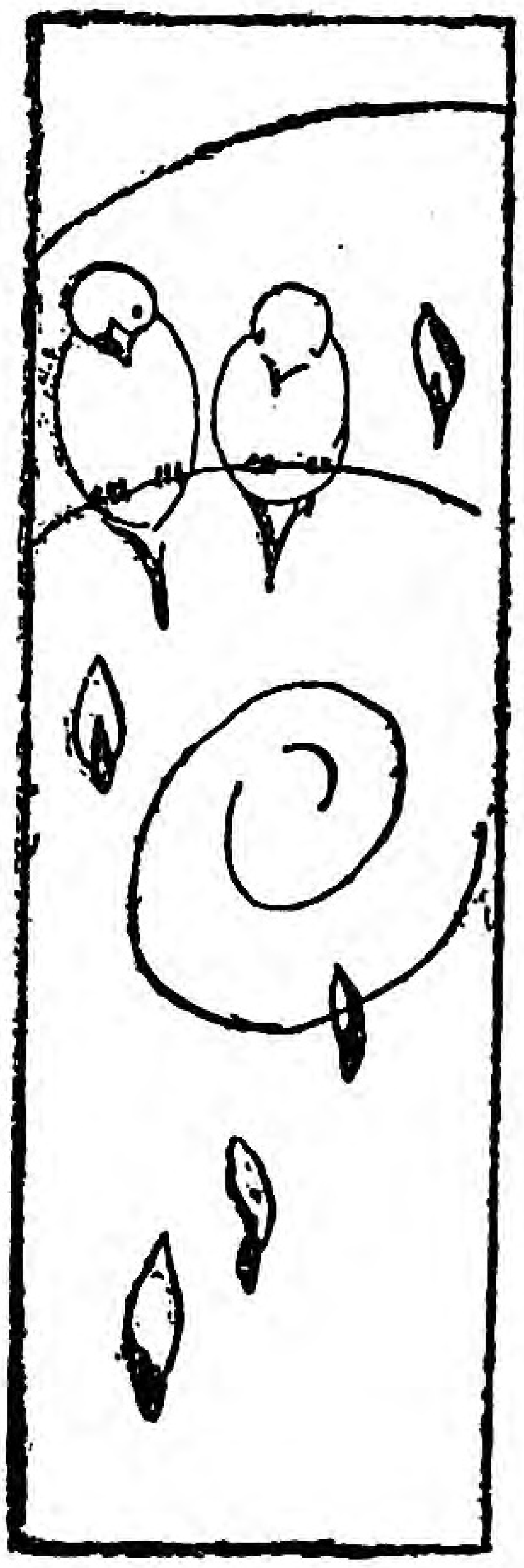
『心が一つだから夢もひとつよ』

ふと見ると、菊子はハンカチ出して泣いてゐますどうしたのとき丶ますと、

『私し何んだかうれしくて、それで今神樣に御禮を申し上げてゐますのよ』

遠くの方で讚美歌が聞えます。何故かしら私も感激した氣持になつて涙がぼろ〱と零れまして、あゝ神樣と叫ばうとしてこの奇しい夢からさめました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



歌人の面かげ（その二）

ひろの

＝連月尼＝

乙女子よすそなかゝげそ加茂川の
淺瀬も月のすむ夜なりけり

つゝましやかな、すなほな歌ぶりを、見るにつけても、あでやかな京美人の面かげが明らかにしのばれます。

連月尼は京都で名高い知恩院の寺士、大日垣某の長女で、京美人中の美人で、天性の美貌と歌才とは、京都の幽雅、秀麗の山水により、いよ〳〵その美を發揮し、その天與の才を伸ばす事が出來ました。

一度嫁して四人の子を儲けましたが、あはれ三十六才にして夫を失ひました。然し連月尼は二夫に見えず天晴貞操を守つて四人の子を育てました。其後四人の子も亦早世しましたので、いよ〳〵世の無情を感じ、風流三昧に生涯を終らんと決心し、晩年を西加茂のほとりに住ひ、和歌を詠じ、陶器を燒き、茶碗、急須に自作の歌を刻つて、賣りましたが、八十六才の高齢を以て、この優しい老尼は世を去りました。

野に山にうかれ〳〵てかへるさを
閨までおくる春の夜の月

うかれ心の春の遊びに、花に鳥に興味はつきず、山も樂しい、野邊も面白いと、つい時の過ぐるも忘れて遊び暮し、おぼろに霞む春の夜の、月の出るまで戯れて歸ると、我家まで月が見送つて、閨の窓にも、花の香こもる月がさして居るといふ意味で、のんびりとした春の心が、優美に詠まれてゐます。

岩つとふ清水涼しき山かげの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

葉がくれ庵に住む人やたれ

暑い夏の日に山路を通り、暑い暑いと苦しい息づかひをして、あたりを見れば、青々と茂つた立樹の間に、さゝやかな家が見える。そしてその家の前に岩と岩との間をチヨロ〳〵と流るゝ清水が、如何にも冷たさうに思はれて、又美しく玉と澄む様が大變涼しさうに思はるゝ。あの青葉につゝまれた涼しさうな家に居たらこの夏の暑さも忘れらるゝであらうに、一體あの家にはどんな人が住んで居るであらうかといふ意味でありまして、山の中の涼しい住居がよく現れてゐます

ゆふつく日入江の松にかげろひて

名殘さびしき秋のむら雨

定めがたい秋の日和は降つては照り、照るかと思へば曇る。少しも空の模様が的になりません。さき程まで雨がしと〳〵と降つて居ましたが何時の間にか雨がやんで、夕日に海邊の松が照されて居ります。そして短かい秋の日は早くも沈まんとして、弱い光りにさき程の雨にぬれた松を照して、露の一つ一つが夕日に光つて見えるといふ意味で轉々と變りゆく秋の空模様が遺憾なく詠まれて居ます。

めせ〳〵と炭うる翁聲かれて

袖に雪ちる年の暮がた

節季風、師走風、寒い冷い年末の人足しげきなかにこれも同じ世のいとなみの、渦にまき込まれた老翁が弱い足どりで聲張りあげて、炭を賣つて歩いて居る。雪さへ降り出した年の暮の寒風に張り上ぐる賣聲もしだいにしわがれて行く、あゝ氣の毒な事であると、年の暮の世わたりに苦しむ翁に同情した歌であります。

山里は松の聲のみ聞きなれて

風ふかぬ日はさびしかりけり

山の中の住居に淋しく暮す身は、訪ねて來てくれる友もなく、慰むべき遊び事もなく、唯一日中嵐の松が風に鳴る音ばかりを聞きなれて、そればかりが友だちとなるのである。それゆゑ風のふかぬ日は靜かな周圍がいよ〳〵ひつそりとして淋しいものであると山里の靜かさを詠んだ歌であります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女で傑かつた娘の御話

岡 なをじ

皆さんと同じ樣な年の若い娘で國の爲め社會の爲めに働いた人が昔から澤山あります。
ヂャンダルクとかナイチンゲールとか云ふ娘は皆な此の樣な人で男の英雄豪傑と少しも差別はありません。
此れから私しは皆さんと同じ樣な處女で國を救つたり社會を助けたりした謂はゞ女傑の御話を致しましよう。

女傑ヂャンダルクの話（其ノ一）

□ヂャンダルク孃は今から五百年ほど前に佛國の片田舎ムーブ河の流れ清き岸にドムルミイと云ふ農村に生れた娘でありました。父をジャックタルク、母をイサベルと云ひました。
小さな百姓で、夫婦の中に、子供が五人三人が男で二人が女でありましたこの次女こそ後に少女の身で佛國の危急存亡の時に國を救ひ上げたヂャンヌで『オルレアンの處女』『女傑』と慕ひ呼ばれる樣になるのです
此の村には今も彼乙女の生れた家は殘つて居ります。暗い小さな二階立の百姓家であります。

□強く優しく眞面目に働いた娘

ヂャンヌは此の家で田舎の普通の娘と同樣に育てられ性質は幼時から非常に温和で謙遜で同情深く決して兩親や兄姉達の云ふ事に背いた事はありません。一口に言へば全くの田舎堅氣の少女で、虚飾の無い無垢な可愛い處女でありました。ヂャンヌは生れつき健康で常に友達と共に遊戲にふけり、愉快に歌ひまはつて居りましたが、十二歳になる頃より兩親を助けて野に出ては牛をひいたり、羊を飼つたり家に居ては糸を繰つたり炊事をしたりして強く優しく眞面目に働いた娘でありました。

□幼い時から神樣を信じた娘

ヂャンヌは幼時から神を信じて野山に出でては花を集めて花輪となし神樣に御供をしました。又兩親から寢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

物語に二人の女聖カテリーヌとマルガレットの話をきかされました。

教會へ行く様になつてから此の二聖の話を聞いて二聖女を敬ひ信ずる様になりました。

野山の草花の中で友達と花を採む時、歌にふけつた後などには彼女は此の神様の事を話會ひました。チヤンヌ孃の未だ物事のわからぬ頃から、父母兄姉から「今佛國は英國に攻られて居る」と聞かされました。其頃百年戰爭とて佛國の王様フイリップ四世が崩御にならせられました後相續爭ひが原因となつて英國と大戰爭が初まりました。

此の戰爭は初め英國が勝利を得て佛國の領土の大半を取り、其の次には佛國が勝利を得て前の領土を取りかへしました。其後佛國が又敗けて佛國へ英國軍が入りこむ様になりました。此れが爲めに佛國の皇太子であつたチアルスは王様になる事が出來ぬ運命になりました。チヤンヌ孃はこんな話を聞く度に乙女心に皇太子様をきのどくに思ひ心から歎きました。

□皇太子の御爲めに祈る

信仰深いチヤンヌ孃は神に祈をする時には常に早く神様皇太子様を王様にして上げて下さいと祈りました。チヤンヌ孃の祈は村の人々の間にも噂される様に熱心なものでありました。

又孃が此の戰爭の原因が段々理解出來る様になるにつれて皇太子様をあはれむ煩悶は段々烈しくなりました其時孃はまだ十三才の年若な處女でありました。

□戰爭は益々佛國の不利

其頃佛國は英國軍の爲にひどい目に逢されまして、家畜や食糧は掠奪され若き女は辱しめられ老人子供までも虐殺にあひましたので、佛國の民は餓死せねば虐殺されると云ふ全くあはれな有様となりました。孃の親族の者で捕虜となつた者や、虐殺された者も多くありました。其頃は孃ても恐い夢ばかり見て居りました。ある夕暮羊を廐屋におひ込みぼんやり庭に立つて居ると、ふと不思議な聲が聞えました。其の聲は天のあなたから出たので其方向に光があらはれました。

『私は神使だ　善良なれよヂヤンヌよ。
神は汝を助く』

と聞えました彼女は非常に驚きました。數日の後又も『ヂヤンヌ善良なれ』と言ふのが聞えました聲の來たる所も何人であるかも知る事を得ませんでした。三回目の天の聲を聞いた時には其姿をさへ見ました。

其れは禮拜堂にかゝつて居る聖ミカエルで其邊で守本尊として敬つて居りました神様てありましたそうし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

て聖ミカエルは『聖カテリーヌと聖マルガレトとは汝を導く樣に神から命ぜられた彼女等を疑ふてはならぬ』と言ひて消えました。

ヂャンヌは此の時非常によろこびました。此の聖女はヂャンヌが幼い時から信仰して居た方であたのです此の二聖女は何んと言ふて導くだろうかなぞと聖女の御告實現を心詫びて待つて居りました。聖ミカエルの御告げの如く間もなく兩聖女は出現致しました、其眩さと神々しさとにヂアンヌは頭を上げる事も出來ませんでしたが嬉しく思ひました。二聖は交々『力強くあれ―善良なれ―神は助く―』と色々と孃をなぐさめました。

兩聖女は其時より時々出現しました。時々には聖ミカエルと三人して現れた事もありました聖ミカエルは或時ヂアンヌに、

『佛國を愛せよ！　汝は村を去つてフランスに行け！皇太子を助けて王となせ！　それが御前の務めじや！』と言はれました。

□神の御言に依り故郷を後に

ヂャンヌは今まで、何國となく聞いた神の御言に依つて信仰は益々固まつて參りまして、どうかして神の命令の樣に戰場に行つた皇太子の御爲めに働かうと考へました。

丁度其時に孃の鄕里から少し離れたヴォークリールと云ふ町には英國軍を守る爲に守備隊が置かれてあつた。ヂャンヌは隊長に合つて自分の希望を話し神の命令に從ふ爲めに生れ故鄕を出立しようと決心しました。そして、隣町にある守備隊長に會つて自分の望を話そうとしました。

而しヂャンヌはなんと言ふても年若い娘である十六年の間孃をなぐさめたドムルミー村を去るに及び、知らず知らずも足はたぢろぐのであります。

而しヂャンヌは唯神を信ずるが故に故鄕を立ちさる事となり、二度と見られぬ故鄕よと涙ながらに生れ故鄕を出發しました。

□シノン町で皇太子にまみゆ

ヂャンヌは早く守備隊長に會ふて皇太子の元へ行く樣にしてもらひたかつた。

此等の計略は二聖女の導き通りにしたのであつた。

或朝彼女は守備隊長の所へ行き

『私は神の命に依つて來た者です早く皇太子に會して下さい皇太子樣の爲に戰ひます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

フランスは近く神に依つて救はれますと恐氣も無く言ひました。

隊長は突然の事に全く孃を狂氣であると思つたので部下の者に狂人を保護して親に渡せと部下に彼女を指差しました。

ヂャンヌは此の頑固な隊長を説く術もなく熱心なる申出も『一人の狂女』として取あつかはれた時孃の心の中はどんなでありましたでせう。

然し彼女の信神は固く一度位の不成功には落膽致しませんでした。然し何故に隊長にことはられたかと言ふとこれには他に原因がありました。

それは其頃墮落した女が戰場に行き軍規を亂す事があつたのでありました。ヂャンヌも隊長から此の墮落した娘と同樣に考へられたからでありました。而して孃は熱心に何回も何回も御話致しました。彼の女の熱心は遂に隊長に認められました隊長は彼女の身上を訪ねる樣になりました。而しヂャンヌは郷里に於て最も評判のよい娘で少さい時から強く優しく眞面目に働いたものであると云ふ事が解つたので隊長は皇太子の元にジャンヌについての申出を致しました。ヂャンヌは勿論の事ヴォークリールの町人迄も王の返事を今やおそしと待つて居るうちに

その少女を伴ひ來れ

との返事が參りました時彼女の喜は如何ばかりでありましたらう。

而してヂャンヌを慕ふ町民は女の服裝は戰場を通過するに不適當なりと彼女に男の服を贈りました、孃は隊長につれられてヴォークリールの町を出で皇太子の居られるシノン町へと立ち其途中には少なからざる敵兵も入りこんで居り、又其間には暴れ者も居りまして年若い娘は非常に危險でありましたが、彼女は神を信じたる爲めに怖れる事なく勇んで出まして、ようやく十日余をついやしてシノンの町に至りました。

而し皇太子は唯好奇心にかられてつれてよこしたのみでまだヂャンヌに會うか會はぬさえ疑問でありましたが終に皇太子に拜謁する事が出來ました。

彼女は天の神の御言葉の通りを熱心に皇太子に申しましたが尙信ぜられませんで色々と試驗されましたが其度に唯『オルレアンに!! オルレアンに!!』『私の使命はオルレアンの、戰場です』と強く言ふのみてありました。(以下次號)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

別れの吹雪

（一）

偉人の母に愚かな母はございませぬ。世に天晴の名を擧げた人の母は大抵賢母でございます。家庭敎育の忽せにならぬこと今改めて申すまでもありませぬ。

近江聖人と言はれ、今の世にまで忠孝の鑑みと尊ばれて居りまする中江藤太郎先生が幼時の美談をかいつまんで一席辯じ上げませう。

人は生れながらに識るものに非ず名僧智識も皆學んで覺えたものでございます。近江聖人中江藤太郎先生も若うして叔父をたよつて他鄕に身を寄せ、熱心に學業に勵んだのでございます。頃は三月、都には花は咲けども滋賀の山里は白雪野山に積つて山颪が骨に沁みます。

「あゝこのような寒い日に、古里の母上さまには何んとしておいでかひと目なりともお目にかゝりたい幸ひこゝの近くにアカギレの妙藥がある故に、若しや母さまが惱んで居られるといけませぬ。是れをかつて進ぜながらお目もじしたや」

親を思ふは孝子の情、かくと心に定めますと夜半の夢さへ古里に通ふて文よむ心も迷ひます。

「といつて叔父に申せばお叱りを受けるは必定、さうだ内所にそつと家出して母上に逢ひにゆきませうさうだ」

と藤太郎先生そつと身支度をして、夜明けをまつて叔父の家を家出しました。小さな懐にキチンと包んだアカギレの妙藥、老ひませる母君を思ふ孝子の情け。

（二）

馴れぬ山路を、殊に吹雪の夜を、只一人杖に縋つてとぼ〲と辿りゆく少年の後ろ姿のいぢらしさ。岩根につまづき、谷間に仆れ、心は逸れども足は捗取らず、とやかくする間に日は暮れました。心細さにヂッと目をつぶりますと、熱い涙が頬に傳はります、其さへ凍るといふ雪の夜の寒さ。張りつめた心も弛んでどつと路傍に仆れて前後不覺になつてゐました。其所を、助けたのが、旅人ではない、一疋の忠犬、畜生ながら孝子の德に感じたものでムいませう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

この犬の爲にやう〳〵人家のある所に導かれて、吻としました藤太郎先生、

「危ない所を助かつた、天のお助け神のお惠み、お〻東が白んだ、夜が明けた、嬉しや、もう、お母さまにお逢ひ出來る」

思ひ出多き友の家がございます、昔に變らぬふる里の山川草木、一として懷鄕の情をそ〻らぬものとてはありませぬやがて辿りついたのは夢うつ〻にも忘れることの出來なかつた我家の門前。

（三）

まだ早ければにや、玄關の戶は締つてあかず、そつと勝手に廻りますと、車井戸の軋る音が聞えます。寒水を汲みたまふは誰ぞと後ろ姿をぬすみ〻ますと、お〻是ぞ紛ふかたなき母君、藤太郎は挨拶も忘れ、後ろよりそつと母の袂を引いて、

「母さま、私が汲みまする」

不意におどろいて見返ると藤太郎です。

「お〻そなたは藤太郎、どうして此處へ」

左手に井戸綱握つたま〻凜として

「ハイ、母さまのお手助け致しに參りました」

「さうか、叔父樣と御一所か」

ハッとせし藤太郎、無言でムいます。

「さあ、藤太郎、どうして此處へ、母は先づそのわけを聞きませう。」

「母さま、おつむりへ雪がふりまする、どうぞお內へ、」

「いえ、いえ、此處で聞きませう、それ聞くまでは入りませぬ。」

折から吹き颪す朝風に、地上の雪はくる〳〵とまきあげる。

藤太郎はありし、次第を細かに語りました。燒野の雉、夜のつる、世に子を思はぬ親はありませぬ。老の我が身を案じて遠き雪路をはる〴〵と慕ひ來し愛兒の心を思へば、流石の母も腸は千切れるばかりでございます。

然し此處ぞと母は氣も心も正して

「藤太郎、そなたはあま何としたこと、國を出る時の決心を忘れましたか、この母の敎を忘れましたか。一旦國を出たからには、天晴立派な人にならない內は、決して中途で歸りませんとあれほど誓つた言葉を忘れ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ましたか、この母が寒中水汲みをしますのも、みなそなたを立派な人にしたい爲です、さあこの道理がわかつたならばさつさとお歸りなさい、一人で來られたからには、一人で歸れぬ道理はありますまい」

（四）

百里の路を母に逢ひたさ、子供ながら積る異郷のうさ話しをして慰めて貰はう爲に戻つたものを、今歸れとはあまりにつれない母様の御心と藤太郎はしばらくぼんやりとしてゐましたが、力抜けがしたのか、雪の上にドッと座つてしまひました。

この樣を見ました母は、またしても心が亂れて、せめて一日なりとも家に入れて旅の疲れを休ませ、温い床にねかしてやらうと恩愛の情がこみ上げて來ましたが、獅子は子を千仭の谷にをとすとかや、此處ぞと又我と我心をひきしめて、

「さあ、藤太郎、この母のいふことがわかりませんか」

強く叱れど、流石に聲は曇つてようひゞきませぬ。藤太郎は虫のような聲にて

「ハイ、お母さま、私が惡うございました、それでは是で歸りまする、」

「おゝ歸るか、わかつたか」

藤太郎はつと立上つて衣の雪をはらつてゐましたが、やがて懷中から一包みを出して

「母さま、此はアカギレの妙藥でございます、どうぞ是丈はお納め下さいませ、よく利くさうでございます、」

と凍えて眞赤になつた紅葉の樣な手に膏藥の包をのせて差出す藤太郎と默つて其を受取らんとする母の顏と顏、母ははふり落つる涙を拂つてそつと顏をそむけました。

「では母さま――」

互に見送る母子の心折しも朝颪一陣さつと吹いて雪は卍字とふりつのります。

あゝこの母にしてこの子あり、偉人の養育はとにかくとして、皆樣も軈ては人の子の親として立たねばならぬ大事の身の上、今から身の修養を勵んで、強く優しい立派な母とならねばなりません。

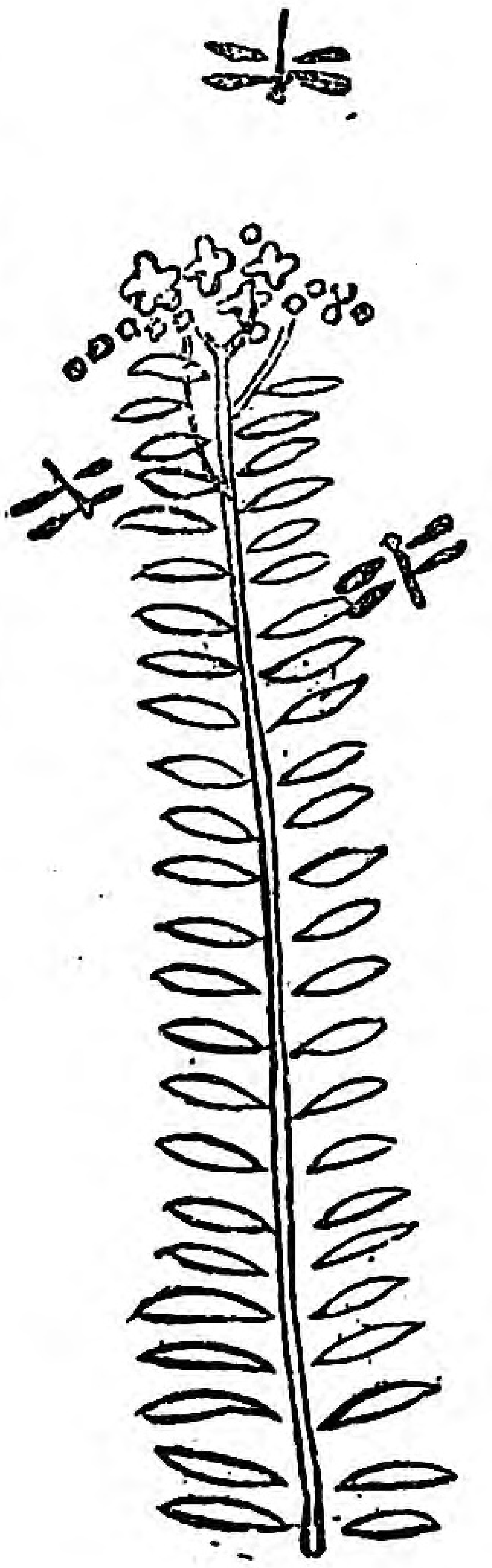
たらちねの子のため斷ちし賤機や
やがて織りなす錦なるらむ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小説

友情（その六）

深緑



△

齒の根も合はずに、ぶる〳〵慄へて居る高子等母子が、繁野と靖代に手を引かれて、杉本家に避難して居ます時に、門の戸を烈しく明けて入つて來た數人の村人は、

「先生、先生、怪我人です」

と大きな聲で叫びながら一人の男を擔ぎ込みました。と同時に薬局生があわてゝ奥に駆け込んで

「先生、怪我人です」

と慄へ聲で訴へました

「誰だい怪我人は？」

臺所から

二月の食品

魚　類＝魴鮄、鰆、安鱇、いなだ、いさき、なまこ、牡蠣、このしろ、赤貝、

野菜類＝春菊、京菜、蕗の薹、はうれん草、牛蒡、小松菜、里芋、八頭

野菜の皮の利用

（一）

人參を料理した時に廢物となつた皮を、すぐに捨てずに、何かの煮汁で能く煮染めてそれを細かに切り、庖丁で叩き、汁を去ります。そして刺身に使つた魚の切屑や、生魚の骨についた肉をこそげ取り、よく叩いて庖刀で練つて、少し鹽を入れて前の人參を入れ、よくまぜて片栗粉で混ぜ合せまして、丸め蒸籠に入れて蒸します。

（二）

蓮の皮は小口より斜に細く切り、硬い筋を畝く喰べろことが出來ます。それで皮を斜に切つたものと、芽先や節を薄く小口切りにして、鍋に少量の油を入れ、火に架け、煮立つた所で前の細かく切つたのを、皆一所に入れて能くいためまして、油を去り醤油と砂糖で味を附けますと誠に美味しく頂けます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

鷹揚な繁野の父もさすがに平常の落つきに似ず、顔色を變へて、急ぎ足に診察室に行かうとしました。

『あの河村さんの旦那です」

繁野の父につゞいて急ぎ足にあゆみながら、意氣せき語る藥局生の聲が奥に聞えた時に、一同は、あつと思はず驚きの聲を發して

「あーどうしやう」

「まあお父さんてすつて」

眞青になつて身もだへする、高子母子と同じ心で、驚きと悲しみに掩はれて、夢心地になつて、ぞろ〳〵と診察所に入りました。

「女は來てはいけない、暫くあつちで待つて居るんだ」

いきなり叫ぶ繁野の父の聲に、人の影にかくれた高子の父の呻吟る聲のみ耳に殘して、再びもとの茶の間に引きかへし

「わつ」と同時に泣き出した高子母子の悲痛の聲に、慰めの言葉も出でずはら〳〵と氣を揉むばかりでありました。

沈默に壓せられた室内に、刻一刻きざみゆく、時計のチクタクの音はさながら身を切る刄の音の如くに思はれて、言ひ知れぬ憂愁の色は室内を包みました。暫くして入つて來た繁野の父の面には、殊更に平氣を裝ひながらも、心の底によどむ憂ひの雲は拂ふに由なく、どつかりと座つたまゝ腕

昆布と數の子

昆布は不消化物として、排斥する人もありますが、滋養分を含んで、なか〳〵よい食品であります。

數の子は鯡の卵ですから、一寸食べるにはよろしいと思ひます、一體數の子は核素といふものに富んで居ますから、體内を溫める作用があつて、冬の食品としては結構なものです。

香の物の刻み方

老人のために香の物を刻みますには、大根は小口から薄く切つたものを刻みますが、これでは長い短いが出來て、歯のない方には食べ憎いものですから、先づ大根の周圍を切り落して、四角の形にして、それを小口から薄く切つて、端から極く細かに刻みます。斯うすると長さも揃ひ、歯あたりも軟らかです。

燒豆腐筑紫揚げ

燒豆腐を横にして四つに切り、鹽と胡椒とを撒りかけ、更らに麵麭粉をぬり、別に煮立てゝある油の中に入れて揚げ、狐色になつた時、西洋紙の上に取つて油を切り、皿にもり、ソースを添へて出します。

豆腐蒲鉾

豆腐をつかみ崩して、布巾で堅く絞つて置き而して鮃のやうな白い肉の魚を選び、俎板の上

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

を組んで、泣き伏す高子母子の、哀れな姿に瞳をすえて眺め入るのであります。

「まあ一體良人は如何したんでござんせう」

をど／＼と尋ぬる、高子の母の心のいら立ちを押へるやうに

「まあとにかく病人を見ていらつしやい。今眠つて居ますからそつとねー靜かにですよ」

言葉少なに言ひ渡して、高子母子を診察所にやりました。

診察室には二人の村人が殘つて、高子の父の枕邊に腰かけたまゝ、其息づかひに心をくばつて凝つと額から上は繃帯に包まれて青ざめた其顏色を見つめて居ました。ほの／＼と世の明けゆく頃まで、高子の父は身動きもしませなんだ。

思ひがけぬ、否、瞬時の失火が、家を騒がせ村を騒がせて、可惜村中に大家と誇つた河村家の大建物を一夜の間に煙と化して、水にぬれた黑焦の材木から、靜かにのぼる煙が言ひ知れぬ哀れさを語り、杉本家に救はれた母子三人の前途、わけても、大怪我に明日の命も知られぬ高子の父の運命のはかなさを思はするのであります。

△

癒れば痴呆として、世の人に迷惑をかくるか、或は一週間の間に命を失

で、庖刀で細かに叩き切り、擂鉢に取つて、良くすり、これに前の豆腐を加へて尚くすり混ぜ煮切味淋と鹽と、鰹節の煮出汁少しを加へて、程よい硬さにして、これを板に蒲鉾形に塗りつけます。

燒拔昆布の吸物

厚い昆布を縦二寸、横三寸位の大きさに切りそれを鹽を出さぬ様にザッと水で洗ひ、乾いた布巾で水氣を拭きとり、少し强めの火に餅網を載せ、其の上にてこの昆布の裏表を氣永に燒きます。すると膨れめが立ちホンノリと焦げますから、これを指にて一口に喰べられる位に折つて置き、次ぎに極く薄めの煮出汁を鍋に取り、これに同量の湯を合せ、鹽を程よく加へて味をつけ、而して煮立て、小吸物椀に六分目位つけ其れに前の昆布を二枚づゝ入れ、蓋をして出します。

甘藷のそぼろ煮

甘藷を一寸位の拍子木に切り、鹽水に暫く浸けて、灰汁を出し、水を斷つて胡麻油で揚げ別に牛挽肉八匁と人參十五匁、玉葱十匁の細切りとを、水一合五勺位入れた鍋の中に入れよく煮ます。軟かになつたら砂糖一摘み醤油一勺の割合で味をつけ、葛の水溶きしたものを流し入れ揚甘藷を盛つた上からかけて出します。莢隱元莢豌豆を茹で小口切にして、ふりかければ體裁極めてよし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふか二つに一つといふ、杉本醫師の診斷は適中して、驚きまどひ、嘆き悲しむ高子母子を殘して、高子の父は遂に一週間目に亡くなりました。火事に家を失ふておびへ、突然父を失ふて泣き入る高子と母は、もう住みなれた村も住み憂くて今までの召使は殘らず親元に歸して、三里隔つた母の實家を便つて伯父の世話になる事になりました。

村一番の素封家として時めく、河村家の葬式としては、誠にもの足りない淋しい葬式が、ほんの形ばかりに行はれて、親切な村人、わけても杉本一家の慈悲ある世話により、燒のこりの荷物を車に、つんで伯父につれられた高子と其母が村境に立つた時思はず顏を見合せて涙ぐみました。十餘年の華やかな生活、思ひのまゝの振舞を思ひ出しては、明日から人の家の厄介になるべき自分達の運命のはかなさがひし〳〵と胸に迫つて涙は止め度なく頰をつたはります。

「さあ早う行かねば」伯父にせき立てられて、歩き出した三人が、いよいよ隣村との境にある土橋を渡つた時「お高さん」と可愛らしい聲が後で聞えました。

それは言までもなく、繁野と靖代でありました。二人は今日高子がこの村を去ると聞いて、學校歸りの袴姿で呼吸急き走つて來て三人の跡を追ふたのであります。

家事手引

するめの味噌つけ燒

するめを二日間ばかり水に浸し、軟かになつた所で適宜に切り背に十文字の切形をつけて、味噌につけよく味噌の味のついた所で燒いて皿に盛ります。

練馬大根の甘酒漬

大根を一日二日程日に干し鹽を適宜にして、つけこみます。二三日して水があがつて參りましたら其水をすて、今度はこうじ一枚を甘酒につくりましたものと、糀二升と鹽とをよく混ぜ合せた中に漬け込み壓石をおき二三週間も經過しましたらば頂けます。

凍傷の療法

まだひどくならぬ内に、傘に塗る油を、凍傷の部分に塗つて火にあぶるとよろしう御座います。

硝子の破れた時

若し硝子を破つた時には、白砂糖と御飯粒とをよくねりまぜてつぎ合せて、しばらく其まゝにして置きますと決して離れません。

切干薯の作り方

薯を雑と洗つて蒸釜に入れて、蒸します、蒸釜は深くて大きいものが適當であります。適度に蒸し終つた後釜より取り出し、餘り冷えぬ中に皮を剝ぎ、簀の上で冷やし、二三分の厚さに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「まあ繁野さん、靖代さん」
これだけいつたまゝ後の言葉も出ずに泣じやくる高子の有様に二人も涙ぐんで
「いよ〳〵お別れね」
「お高さんもうこれ限りね」
二人は淋しく言つたまゝ立ちすくんで、何にも言ひ得ませんでした。暫くの間沈黙した一同の心の中には、同じやうに哀別離苦の悲しみの雲がかゝつて、さま〴〵の思ひが胸充満になつてゐます。
「靖代さん――繁野さん私はすまなかつた、ほんとに私は我儘だつた」
腹の底から絞り出すやうに、高子が叫んだ時
「いゝえいゝえ」
と靖代は高子の言葉を打ち消して、
「お高さん、私は私はまだ〳〵貴女に誠心のつくしやうが足りなかつたのです、」
「まあ靖代さん――私はあなたのやうな優しい心の人をどうしていぢめたんでせう、私は初めてあなたの心がわかりました。」
うなだれて考へ込む高子の側に繁野は進み寄つて、とりなし顔に
「ねえお高さん――私はきつとあなたに靖代さんのお心がわかる時が來ると思ひましたの。もうこれから三人仲よくしませうね」
と言ひながら二人は心づくしの餞別を高子に渡し、名殘惜しい別れを告げて、高子の姿の見えなくなるまで見送りました。

切つて四五日の間日光と風に晒して乾かします俵に入れて、十四五日ばかり貯へて置きますと白粉を生じて味がよくなります。

鳥獸肉の切方

鳥獸肉を切るには、竪目切及び横目切の別あるを、知らなければなりません。竪目切とは纎維の通つて居る切目に添ふて、切つたもので、横目切とは纎維の目筋を横に切つたものでありまず。この切方で、同じ肉でも、硬かつたり軟かつたりします。切目に切つたものは硬く、横に切つたものは軟かであります。

ユタンポの代用品

お腹が烈しく痛む、ユタンポが要る、けれど買つて來る暇もない、店も遠い、といふ場合にはビール瓶かこれに似たものがよろしうムいます。然し直きに熱湯を入れますと破れてしまひますから相當に暖めなければなりません。キルクの栓がいゝのですがよく横にすると湯が洩る事がありますから昆布を卷きつけて固くさし込むと大變結構であります。

フケを出さぬ樣にするには

フケの出ない樣にするには藥屋に行つてアルコールを一〇〇に對してレゾールチンといふ藥を五の割で買つてきて混ぜて毎朝髮を結ふ時につけますとよくとれます。また納製(上等)の硼酸の細末一匁を淸水で溶いて淸潔な布にしめして毎日一回づゝ頭を擦するのもよろしうムいます。その他の方法としては時々毛髮を洗つて頭をきれいにし質のよい水油を用ひる事が大事であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お茶の後

□

本誌も數へ年四つになつた。赤ん坊ならもう片言をきく時分、本誌もお蔭で、もう乳離れがして、獨立が出來るやうになつた。この上は、どうかしてもつともつと誌友をふやし、大きなものにしたい、皆さんの雜誌です、我が家のものと思ふて育てゝ下さい。

□

二三年前までは處女會といつても何んのことか知らん人さへあつた。其だのに、近頃はどうです、處女會といへば、もう青年團體の姉妹團體として、誰一人知らぬものもありません。是は一つには、新聞雜誌の記事が宣傳してくれたのにも因りませう。何んにして喜ばしいことです。尚近頃は都會地に澤山出來るやうになりました。都會及農村の「處女の友」として將來本誌は發展しませう。

□

少し舊聞ですが、東京府下の板橋町にも處女會が生れました（十一月二十一日）板橋町は、巣鴨町に續いた町て、遊廓の所在地として識られてゐます。此町で處女會は有意義です。會長及び副會長は何れも町の德望家ださうです。

□

婦人矯風會は矢島女史を中心とする我邦最古の婦人矯風團體で、その二大主義は、禁酒と廢娼でございます。矢島女史は八十八歲の高齡ではる〴〵、英米まで旅行になつたほどの精力家熱心家です。所がこの矯風會の幹部の方が先頃見えられて矯風會と處女會とは、是非とも密接な連絡を取るやうにして戴きたい、とのお話し、「いや私の方こそ連絡を」といふようなわけて、將來禁酒や廢娼については、協力してゆくつもりです。

□

處女の友の代金を拂込むには振替貯金が便利で安全です。爲替にして書留などにすると金も餘計にかゝります。皆さんは便利で安全な振替送金を利用なさい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

石川縣河北郡まで

天野生

（一）

去る十二月十五日から十九日まで、石川縣河北郡內の處女會を訪問するために、上野を出發しましたのが十三日の夜の八時三十分、寒い晩でした。寢臺車に寢ころびながら新聞をよんでゐる中うと／＼としました馬の背をかりて、莫蓙を負つて道中を旅行した昔に比べると、さても勿體ない世の中かな。

ふと眼をさましますと、寒さが身に沁み、何か窓をさら／＼とうちます、夜明けか、外はうす明るい。雪だなと思つてそつと小窓を開けてみますと、白いものがふつてゐます。雪にしてはをかしい、霰かしら、まさか灰がふるわけもなからうなど丶考へてゐる中またうと／＼うして、いつか直江津から富山を通過し、十四日の十一時に津幡町につきました。河北郡役所の所在地で、七尾線の分岐點ともなり、かなり賑やかな町であります。

翌くる日の新聞をみますと、十四日の五時ごろ、淺間山が噴火をしたといふことであります、さてはあの時は丁度その時でふつたのは雪でも霰でもなく、灰だつたと氣がつき、それならば今少しよく氣をつけてみるのだつたと悔みました。

（二）

河北郡は夙に處女會の發達に心を須ひ、既に郡の設置標準も發布され郡內各町村も設けのない所はなく、三十團體と二千餘人の會員とを有してゐます。こんど私は郡內を約四ヶ所に分け、處女會の主旨を宣傳することになつたのです。

十五日の朝七塚村に參りました、附近の數町村の處

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

女が四百名も參りました。工女さんも見えました。七塚は漁村でこゝの娘はよく働くさうです。雨がふつて寒い日でしたが、日ぐれまで熱心にきいてくれました。

　十六日は津幡町を中心とした處女會で、公會堂で開會しました。三淸郡長、村田地方改良主事はじめ郡吏員の方々も大勢參列され大變盛大でした。お話は處女會の四綱領に加へて地方の視察談などて、みな熱心にきいてくれます。

　十七日は森本村に參りました。此處でも數百名の會員が見えました、寒い風がふきましたのに、三里も遠くから來て下すつたことを嬉しく思ひました。なか〳〵盛んに事業をしてゐる樣子でした。

　十八日は小坂村に參りました。金澤市に近い村で處女は大變美しくありました。郡役所の中濱さんが案内して下さいました。娘の美しいのは大好きです、お化粧もいゝです、相當の着附けも必要です、然し顏かたちを飾ると共に、心をも磨くようにして欲しいと思ひます。髮のハイカラと共に、頭をハイカラにすることを忘れてはなりません。女敎員の方々もよくお世話して下さいました。郡下一般に女敎員方が處女會につくして下さるのは嬉しい。いつも會の終りに處女會の歌「野の幸」を歌はれました。短い間によく覺えたものと感心しました。

（三）

　その夜は金澤市にまゐり柿畠のふじやに一泊しました。翌くる朝早く日本三公園の一つなる兼六公園へ遊びにまゐりました。前田侯のお屋敷跡だけあつて山水の趣申し分なく、築山あり、池あり、泉水あり、瀧あり、天下の名園の名にそむきません。中濱さんは畵がお上手なので、方々寫生してゐらつしやいました。

　十一時ごろ津幡に引返しました、中堅靑年團の協議會に出席し、一場のお話を致しました。處女會は靑年會の爲です、靑年會は處女會の爲です。よい靑年が出來ることは、處女の仕合せ、よい娘の出來ることは靑年の仕合せ、この未來の夫婦たる靑年會と處女會と兩々相俟つて向上せねばだめです。中堅靑年だけあつて實に元氣もよく、頭も出來てゐました。處女も之に伴ふようにせねばいけません。

　夜みなさんに送られながら津幡驛を立ち、汽車で一夜を明かして上野につきましたのが、二十日の十時半でした。北の國の處女たちよ、雪のようにけだかく、美しい娘となれかし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

梅の獨り言

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花
主なしとて春な忘れそ

昔々その昔菅原道眞公は、筑紫に流されんとして、住みなれし花の都の宿を去るに及んで、この私に名殘りを惜しまれました。私もまた主の情の身にしみて、はる〴〵二百里の道を遠く筑紫の大宰府に飛んで、飛び梅の名も高く一千年餘の今日まで春來る前に匂ひ出で、百花の魁をして居ます。二月三月の嚴寒、七月八月の酷暑、それら氣候の困難は意志の強い私には、少しも苦痛を感ぜぬのみかます〳〵勇氣を振ひ起して、二月の寒風に床しい香りを送つて、人を醉はせ鶯をさそひます。又七月八月の暑さにいよ〳〵強い光をうけて、幾日となく炎天にさらされて梅干となります。

私は東部亞細亞殊に日本が最も好きです。果物は生で食べて頂くより梅干、蜜漬、糖藏及菓子又はジャムにして頂く方が私の役目を果すに適當と思ひます。

からい鹽につけられしそに染められ、すつぱくなり赤くなりさま〴〵に形をかへますが、これも社會に自分としての使命を果す上にあらゆる人の嗜好に適せんがための努力で、決しておしれやではありません。

私の一族を、一々數へましたら、數百にも及びませうが、日本に於いて評判のよい一族だけを皆樣に御紹介しませう。

豐後梅、花は淡紅、果は梅の實の中で一番大きなもので、圓形で肉が多く核が小さうございます。熟すると淡赤黃色となつて、赤褐色の斑點が出來ます。樹勢强健成長の早い種であります。

難波梅、花は淡紅、果の大きさ中等で樹勢の強い種類であります。

林州梅、淡紅八重の花香り高く、圓形の果の大きさは中の大、肉は豐かで核は小さく熟すると淡黃色になつて一里紅を染めます。一種白花の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ものもあります。大和の月ヶ瀬の梅は此種類であります。

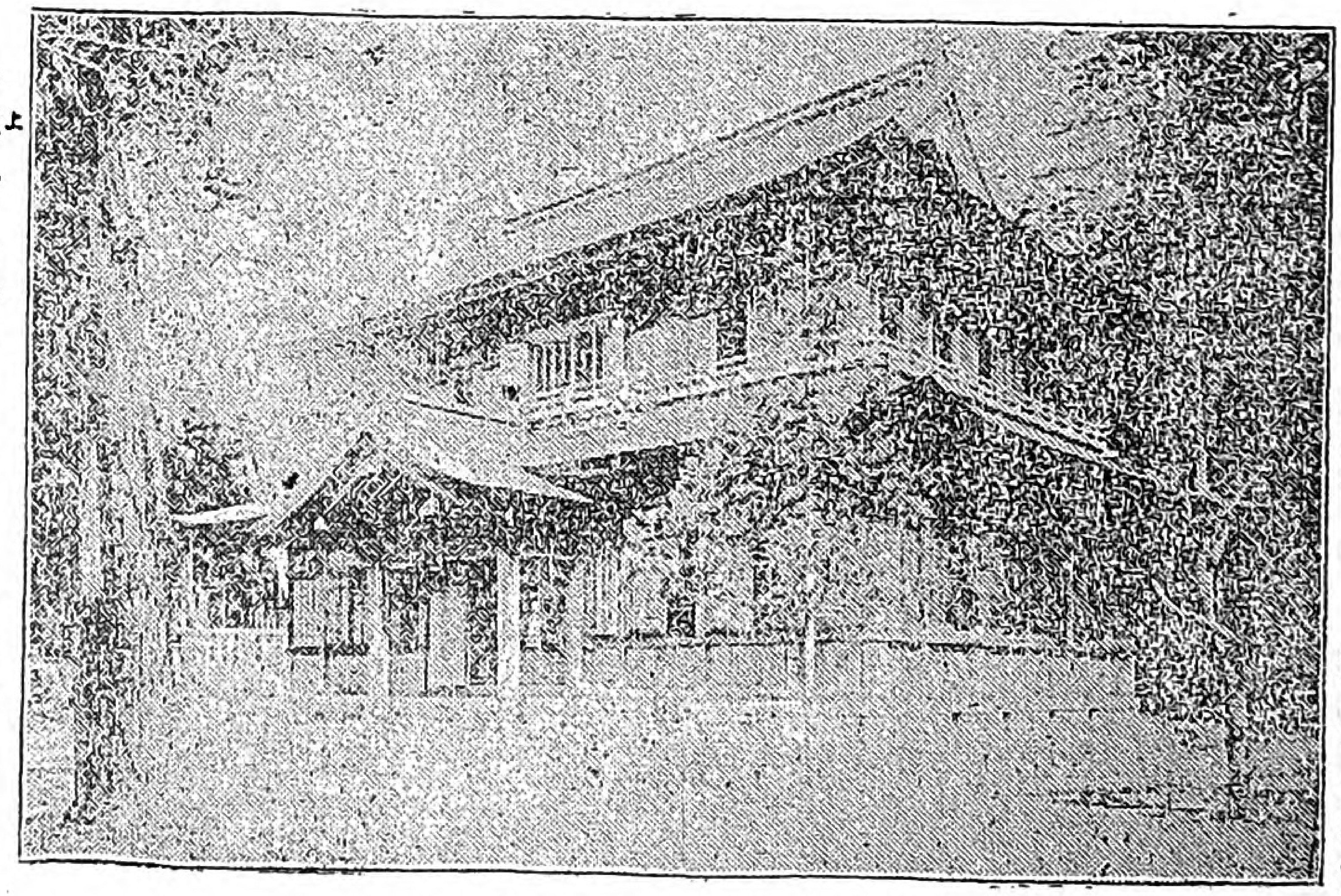
白加賀梅、花は白の單重で果は小さいけれども、樹勢の強い種類であります。

小梅、樹は矮小で果は圓く梅の實の中で一番小さなものでありますが、核が軟い爲肉と一緒に喰べられます。花は白の單重で收量が少なうございます。

これ等私の一族を最も多くして頂くには實から植えて頂いたり、挿木接木をして頂くとよろしうございます。其中で接木は最も適當であります。

◎富士瓦斯紡績小名木川工場 新年講演會

磯部小名木川工場長は同工場内工女の修養と娯楽には、深甚の注意を寄せられつゝありますが、新年早々處女會中央部を介して、



出雲太社寶物館

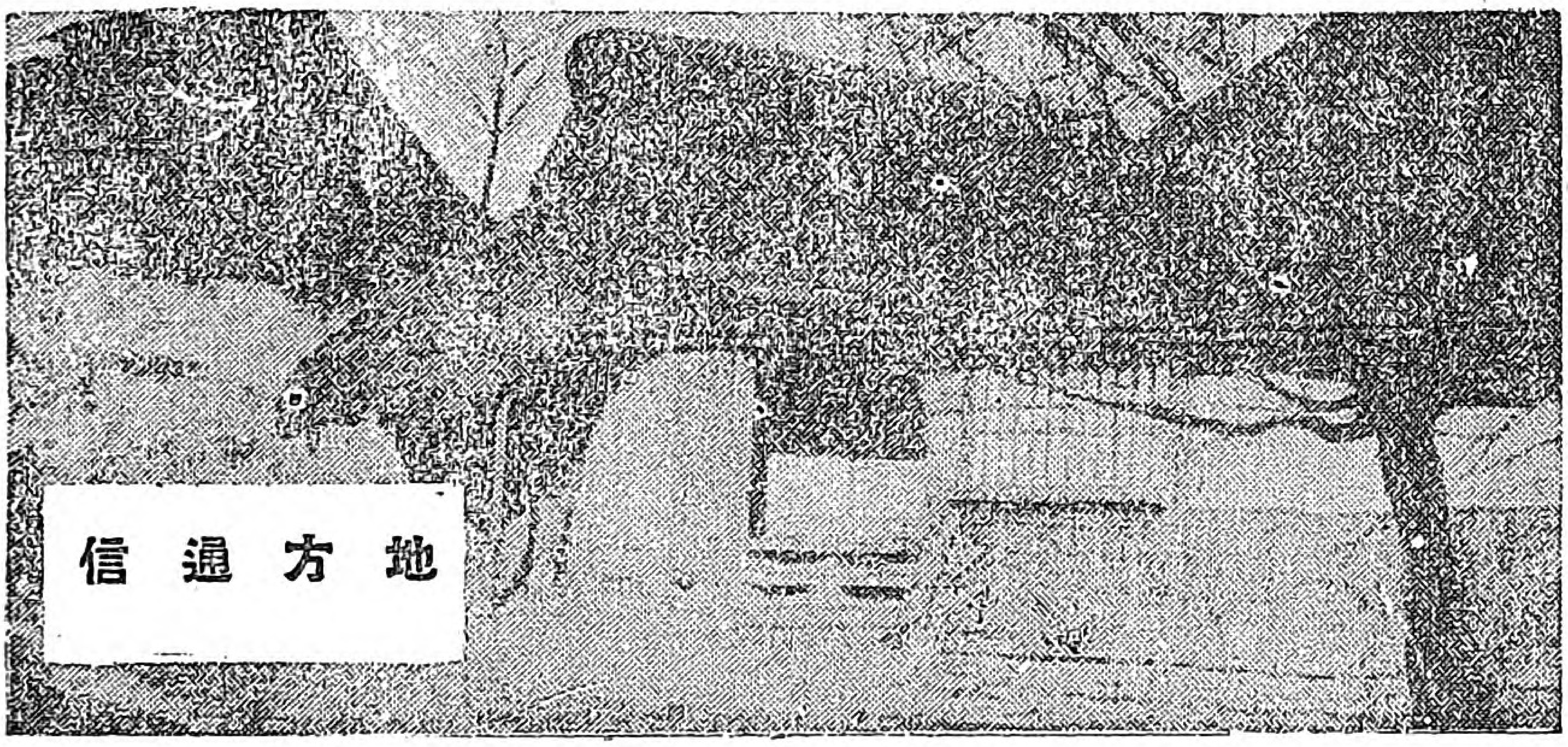
講演を開かんとして、昨大正九年一月其第一回を開き、今年一月二日に第二回を開き、處女會中央部より嘉悦田所兩理事出席せられて、嘉悦女史は昨大正九年十一月十四日お茶の水教育博物館内開催の兒童衛生展覧會に、畏も皇后陛下が御台臨あらせられ、同女史が女高師教授成田女史と出品物につき御説明申上げ、その際に於ける感想を述べ如何にも陛下の我國婦女子の模範と仰ぎ奉るべき事柄に就き詳述されました。

新刊紹介

青年と處女の叫び

天野藤男氏苦心の結果集められし青年と處女の叫びが出來ました、青年にとりても處女にとりてもよい本と思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



地方通信

我が村の孝女

熊本縣　鶴野しゑ子

わが津奈木村は昔より孝子節婦の譽れ高き村であります老女「千代」のお話は昔の事ですから御存じの方もある事と思ひますそれで私は只今生存して居られる「永松ノカ」と言はれる人の御孝養のお話を致します「ノカ」女は幼時實父に死別れましたので繼父なる「喜一」と云ふ人に孝行されたのであります九歳の時は義理ある弟妹「仙吉、セイ」の姉となられました、其の時父は花柳病再發して起立の自由も出來ず、一年立ちても治りませずその母にも傳染して夫婦共枕を並べて病床の人となりました、元より赤貧洗ふが如き家にて兩親に病氣されては如何ともなす術もなくノカ女は死を決せられた事は一度や二度ではなかつたのでした。しかし、今自分が死んでは兩親始め弟妹は誰にたよるべきと一生懸命看護につとめ居れば何にもわからぬ弟妹は、ひもじさに泣くのであります、わづか十歳のノカ女は朝未明に起き出でゝ山に薪取りに行き、近所に賣りあるきてはお藥を買ひ求め兩親にあたへ海に行きて海草貝類を取りあつめ來て、弟妹を養ふのであります。

かくて三年は過ぎましたノカ女の孝養天に通じてか、父の病氣漸やく治りました處、丁度其の頃、舟乘人夫募集の折柄父は一もうけ致さんものとそれに加はつて參りました。然るに行つたきり一年經ても歸り來ず、便り一度ないのであります、三年立ちても來ないので、母は涙の朝夕を過しました。そこでノカ女は母を慰め弟妹をいたわりつゝ暮して居ました。不幸の家にはいつまでも不運續きで妹セイ女は父の病毒を受けて目をわづらひ、治療せしかひもなくつひに死んで行きました。母の病氣は重るばかり

弟の敎育をたすけつゝ母の看護をおこたりません。かくて空行く雁は七度歸りし秋父は漂然と見るも悲慘な姿にて歸りて參りました。それを見し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

母は積る恨みを言はんとされるので、ノカ女は母の口に手をあてゝよく歸りて下されたと、喜んで父を迎へますので、父は面目なげにひたすら詫び入るのであります。父が云ふに何處へ行つても不運續きで金とれず土産かはんと思へどそれどころかとう／＼手ぶらにて歸り來たと申しますより、ノカ女はいとも心地よく、「いゝえ土産などいりませんそのお父さんの達者な體で歸つて來られたのが何よりも土産です」と喜びますので母も涙を流して許してくれよと申しました。それより父と共に働いて居る内に運命の神はまだ／＼ノカ女一家を苦め足りないのか母はつひに歸らぬ人となりました、ノカ女の悲しみ如何ばかりでしたでせう。

そこで村人は母が死なれたから、父は義理ある仲なれば何處かへ嫁るであらうと評して居ましたに、ノカ女はこれからが孝行の仕時だと一心に父をいたわるので、村人も感心致して居ます。歳月は早いもので仙吉は徴兵にて入營し、ノカ女は、自分一人で働き仙吉氏には、勉强させつひに巡査の試驗に合格させましたかくする中日露戰爭が始まり弟仙吉も出征される事となりました、連戰連勝我が國の全勝となりて凱旋し戰功ありて澤山なるお金を戴かれましたそこでノカ女は父の老先の樂しみに小牛を一頭買ひ求めてあたへましたので嬉しく樂しく父は暮して居りました。

かゝる孝養が縣廳に通じて幾度も御褒美を下されました又昨年は東京本願寺より組地に金文字に南無彌陀佛と書きたる佛樣を御下しになりました。

ノカ女は當年六十一歲にて尙健康にて毎日働いて居られますノカ女は私等の模範とする人で津奈木の名譽であります。

我が村の處女會

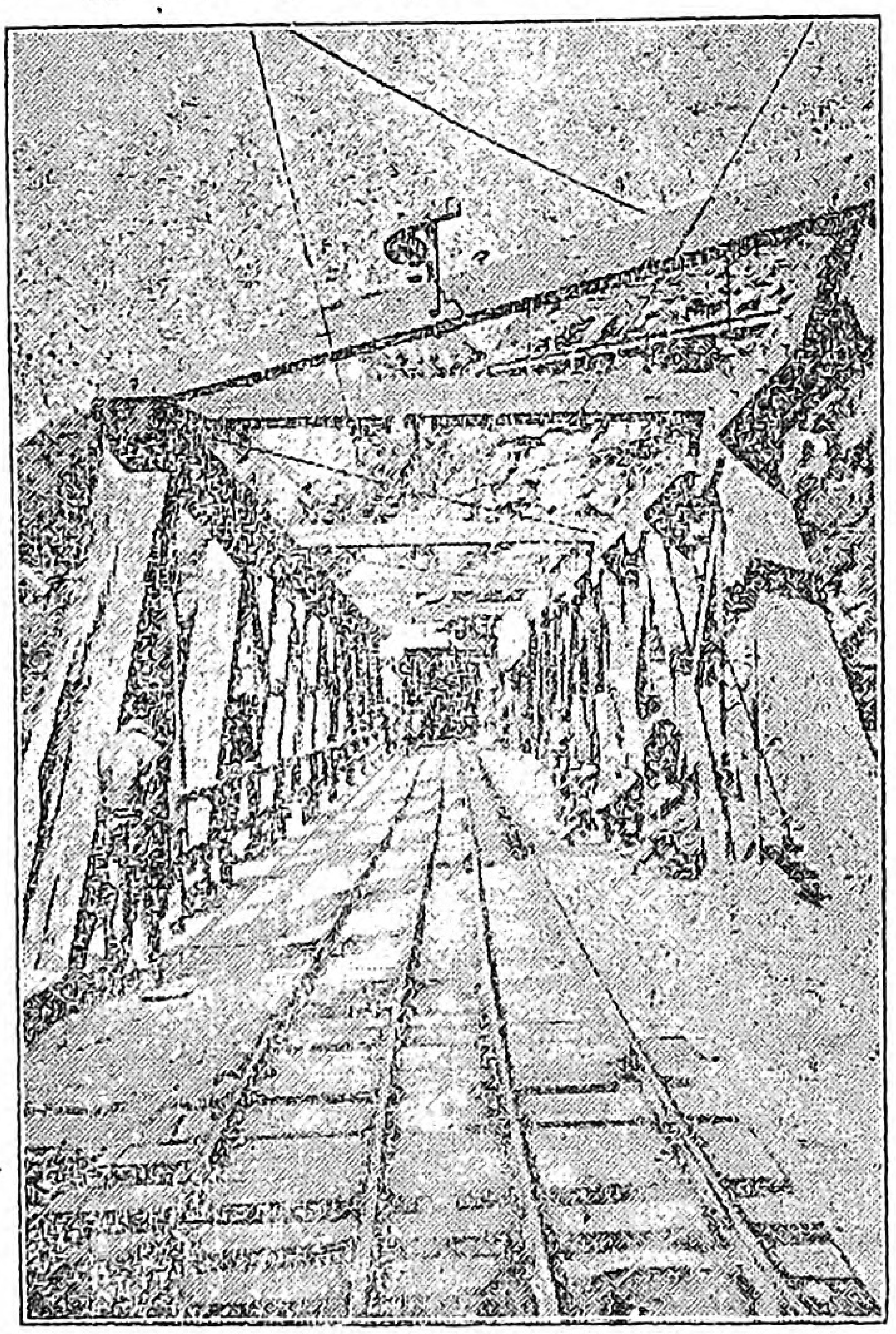
靜岡縣富士郡岩松村處女會長　堀内柳作

當村の處女會は自分が會長の席を汚してから今年で九年目になりますが指導者としての修養と研究と熱心とが足らないので何一つ誇るべき長所がないのを恥づる次第であります。併し最初は集めるのに苦心して居つたが、総會や講習會や料理屑繭整理作法園藝等の講習會や手藝品展覽會や見學旅行などや、早起會を實施して居る中に、自然會の內容を諒解して來る樣になつて、今では小學校を卒業してから嫁入までのものまで組織して居つて、百三十餘名に及んで居ります。目下靑年團にも先んじて生活改善に社會奉仕作業に思ひを致し、現代としての婦人の本分を盡さんとその方面に心を向けて居ります。

當地は至つて僻陬の片田舍のことて、農業に從事するものが多いだけに、極めて質朴なる田舍娘の集りである。野生的氣分を持つた清々しい本能性を發揮して居るのが特徴で、之を漸次に現代と相應しい婦人問題

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に目醒めた文化的生活に親んで、理想の處女會としての活動を實現したいと、お互が協同一致して、自己の修養と團體の修養との圓滿なる進歩を望み、目下報徳感謝の信念の下に社會奉仕の働きに貢献しやうと勇んで居ります。當會が今度各處女會員の日常服膺しなければならぬ歌を募集いたしまして、偶々實施しつゝあることですから別紙の「いろは歌留多」を御參考に供したいと思ふのであります之は毎月一の日を定日として、三回宛早起令を行ひまして、學校に一同を集めて私から修身の要を説き、日常道徳の涵養に努めて居ります。この歌はその會員の日常服膺すべき道徳修養の資料として、且つは家庭娯樂の一助として作製したもので、現今では小學校生徒までが、好んで實行するやうになつて來ました。



足尾銅山坑口

（附記）岩松村のいろは歌は誠に結構で全國の處女としても、修養上參考となるべきものでありますから何れ掲載することに致し、堀内氏の御厚意を感謝致します。（記者）

田舍の處女へ

静岡縣小笠原郡比奈村　増田よね

新しい年を迎へまして若い皆様の御心は改まつたことゝ存じます、私は貴女方が大好きです。

皆様は此新年を、如何に過さむかの御覺悟が定めし立派にお出來でせう、私もいさゝか考へましたので好な皆様に聞いて頂き度大切な處女の友の端を拜借して申し上げます。先第一に私どもの考へなければならないのは、人は何の爲に生れて來たかといふことです。

他から見たゞけでは、誰も彼も同じやうに働いて食べて、着て、年を重ねて居ますけれども其働く食べるといふところに、大に相異があらうと私は思ひます或人は無意識に夫等を繰返し、或人は富の増進をのみ夢みつゝ日夜苦心して年を重ね、また或人はおつくり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

さんまいに浮身を窶し、知らぬ間に皺の出來るのを苦にしながら、また一つといふやうに年をとつて居ます。然しながら是等は皆私どもの餘り望ましいことでは御座いません。折角人と生れた以上はよく其本分を考へて生き甲斐のある一生を送りたいものであります。

賢明な皆樣に申し上げるまでもありませんが、多くの若い處女達は、未だ〳〵讀書の力が足らず、從つて書物に趣味が少いやうに思ひます「折々に遊ぶ暇はあるものを暇なしとて文讀まぬかな」の通りで暇がないからといふことは殆んど口癖のやうに耳にします、甚だしきに至つては本なんか買ふよりも白粉でも買ふ方がよいなどゝいふ人があるさうです殘念ではありませんか。一寸むつかしい話は解らず廻文一つ讀めないで白粉をこて〳〵つけて簞笥の着物を數へて見ては、得意になつて居るなどは、誠に笑止千萬、いえお氣の毒の至りです。而し御化粧必ずしも惡いとは申しません、容儀上からいひましても或程度迄は必要ですが處女のほんとうの美しさは、上等の白粉ではありません、流行の着物でもありません、

もつと〳〵大切なのは、心を淸く磨き上げてやがて一家を處理する上にまた人として活きる上に必要な賢い人格です、卽ち修養だと思ひます。心が磨き上げられて豐富な智識と技能とを以てすれば、白粉に勝る美しさは自然と面に表はれませう、自然に富は得られませう。

私どもは大に前途に希望を持つて、暇なき時にも時間を得て眞面目な書物に親みませう。幾棹と數へらるゝ簞笥長持に數倍する智識の仕度を致しませう。やがて一家の妻として母として大に盡さうではありませんか。生き甲斐のある生活をして國恩に報ひやうではありませむか、そして未だ目の覺めない人達を呼びさまして共々力を盡しませう。

○私は西多摩の淋しい田舍の農村に生れた處女で御座います。一昨年の十二月より愛讀者となりました。記者樣誌友の皆樣宜しく御指導お願ひます。（東京府下西多摩郡檜原村數馬　岡部秀子）

○大正十年の新しき春を迎へて樂しいです。記者諸先生樣にはいつに變らず御壯健に遊され居ること、存じます。毎號の御熱誠な記事誠にうれしく思ひます。今から本誌により修養しましよう。愛讀者賢姉樣宜敷御交り下され。（香川縣三豐郡和田村　石川玉江）

○いよ〳〵寒くなつてまゐりました記者樣を始め先生等には別にお變りは御座いませんか。誌友の諸姉樣もお振ひで御座いますれ。群馬縣の稲本登久子樣、同縣でなつかしう思ひます。何卒御交際を（群馬縣佐波郡三郷村　柳岡いく子）

○かよ子樣御なつかしうございます。いつ御上京なさいましたの。小學校時代に一所にたのしく遊びました事が思ひだされますのれ此の後もよろしく御交り下さいませ（宮城　富塚ときわ）

○凩の身に泌む頃となりました誌友の皆樣お變りはありませんか山梨縣の佐野樣誌上におふるひ遊ばされん事を祈ります。誌友の皆樣時節柄御自愛を。（香川縣三豐郡大野原　大山靜江）

○私は甑山の片田舍に住む一處女で御座います。十月からの愛讀者ですがいつもながらの有益な記事ばかり拜讀さして戴き厚く御禮申し上げます。（福島縣安達郡靈山林中川　富田まき子）

○美しい表紙の處女の友にみとれてゐます。何と平和な表紙繪でせう。近藤美代志樣この幼稚な子にもお交り下さいますつて本當ですか。どうぞ末永くれ。百々の岡崎樣おなつかしうございます。あまり近くつて三樂座あたりにおめにかゝれたらどんなにうれしいでせう。（群馬縣　葉詩茂登十九子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

托兒所を見て

きよ子

日本女子大學の卒業生がお世話して居ります日暮里の托兒所の一年振りの會合に出席いたしました。托兒所といふのは貧乏な勞働者の子供を預つて世話する所でそういふ人達は多く其日稼ぎで終日外に働きますから子供のお守りが出來ません。留守におきざりにして置いては思ひきり働くことも出來ませんから特志な方々がその子供を預つて世話して居られるのであります。日暮里の停車場で下りて車夫の案内するまゝに貧民窟の居並ぶ泥深い道を通つて行きますと大分來たなと思つたところに新らしい木造の硝子窓の家が見えます。低いまがきを巡らした日當りのよい場所で門を這入りますと子供は親切な先生とお庭におしまくりを敷いて思ひ〳〵に遊んで居ります。どうせ貧しい家の子供だから嘸醜からふ汚れても居らふと想像してゐた私は一目見てびつくりいたしました。

さつぱりとした洗濯着物にお揃ひの前掛けをかけてゐます。鼻を出した子供は一人もありません。私はこれなら立派な家の子供にも劣らないと思ひました同時にあとげなく遊んでゐる子供の幸福をよろこばずにゐられませんでした。

そのうち小さい一人の子供が氣分が惡くなつたのか泣き出しました。すると若い先生は自分の妹の樣に「どうした〳〵。いゝ子は泣くぢやありませんよ」と抱いて部屋に連れてゐらつしやいました。

おとなしくなつたと思つてのぞいて見ますと小さな布團に入つて温かさうにねむつてゐるぢやありませんか。嗟何と幸な子達だらふ泣くとぶんなぐろ、よごれた部屋堅い布團その中に育つべき子供は托兒となつての今日女神の樣なやさしい先生の御心に包まれて智惠ずいてゆきます「おゝ惠み深き托兒よ」と寢顏をのぞいた私は涙さへ浮びました。

子供はみな素直でなつこくて歌も上手遊戯もよく覺えてゐます。この尊い仕事に永い間心血をお棒げ下さいます丸山先生、うら若い美くしさを前掛けに掩つて御働き下さる方々に感謝する言葉がありません。

こういふ尊い事業をかよわい手で支へてゐる會員の私どもは喜ばしい誇りを感じ乍ら益々この種の社會事業が發展するをを念じました。

會長井上先生は本所今日迄の來歷今後經營並びに財力を持たざる婦人の立場會員の覺悟等についてお話し下され、東京府囑託船尾先生の米國に於ける模範托兒所の視察談社會奉仕の精神等について懇切なお話がありました閉會して門を出るときは夕暮の色漂うて貧民窟の薄明りが泥水にちらついてゐました。どこからか「こん畜生ヽ我鬼ヽ糞ツーヽ」といふ子供をちようちやくするあさましい聲が聞えます。私はふと思ひ出しました歸るとき「さあ先生樣にありがたうムいましたとおじぎしておいで」とやさしく云ひきかせてゐた托兒の母親があつたことを。托兒を持つ母はやさしくなります。托兒故にその父母迄敎育されてゐるといふことをこの二人の親から感じさせられました。

田舍でも農繁期の頃篤志な家主の婦女の手に依つてこの種の事業の起ることをのぞみます

〰〰〰〰〰〰〰〰

火災豫防宣傳數へ歌

紀伊高野山　高田作歌

一つとや人々いつもの煮たきから、やみ夜の明りは火の力、火の爲よ

二つとや太い煙突汽車汽船、動き走るも飛行機の　空飛ぶも

三つとや皆さん炬燵や火鉢にて寒さを凌ぎて暖まる　心よさ

四つとやよけいに働き疲れたば息むる煙草の一服も　火の力

五つとや何日でも無くては叶はればマッチの扱亦多し　火の元の

六つとや昔明治二十一御山の大火を思へ人　恐れ人

七つとや何をなすにも心得て火の扱ひを大切に　そそうなく

八つとや山ではたらき通ふとも吸殼焚火に氣を附けよ心せよ

九つとや是より町政布くといふ御山の榮へを身に占めて　子供まで

十をとや特に恐れて注意して火災豫防に努めよや　諸共に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

（賞）母を戀ひて

福島縣　宮田まき子

障子の破れから冷たい風が、ヒユウ〳〵と裁縫に餘念ない私の頬をかすめた。「あゝ寒い今日も亦雪かしら」思はず障子をあけて、小さい世界を見渡した。どんよりと曇つた空は今にも泣き出しさうである。紅にいろどられた木の葉は木枯に吹き落されてしまつて、梢に殘つた柿の實の二つ三つ、僅かに秋の名殘を止めて居るのみ。

おゝやつぱり今日のやうな寒い〳〵日だつた久しぶりに母を訪れた時……あゝ其母は病苦の身を白き毛布の上に横へて居られた。そして時々涙にぬれた目を開いてつぶやくのみ……折角母を慕ふて來たのに、私は悲しくて泣かずに居られなかつた。

さらでだに、不幸な私達が眞心こめて、日がな時がな祈りし甲斐もなくなつかしい母は遂に强度のヒステリーとなつてしまはれた。恨むは何……呪ふは何……唯浮世のつれなさを嘆くのみ。

悲しさ胸に迫つて母樣と呼んで見た、見上ぐる空に烏の一羽二羽、父母はらからを慕ふて、かあ〳〵と鳴いて彼方の空に飛んで行く。思ひあまつて見上ぐれば、いつの間にか雪がちら〳〵と降つて居た。

（評）ヒステリーの母、子としてこれ以上の悲しい叫び聲はありますまい、御同情いたします。

大正九年を顧みて

神奈川縣　廣野とし子

「大正九年もいよ〳〵お終ひとなつた、體が二つも三つもあつて欲しい忙しい日が續く內に、時は刻々と過ぎ去つた。思ふことも限ぎりないなすべきことも限ぎりない、けれど神樣は其の者に從つて與へ給ふ、取り給ふのだ寒に入つての父の病氣も心配だ姉樣の御健なのは誠に嬉しい……大正十年は元氣よく過して、正しい道を一路に歩み進まなければならぬ。悔多い九年とは快く別れを告げて」……私は昨年の日記をくりかへして見ましたそして思はず涙ぐみましたそれはもう父はこの世に亡き人ですから。

（評）最後の一句が意味深長

冬の日

鳥取縣　小原しげ子

「今日は大變寒い雪が降るかも知れない」と云ふ父上の言葉に「ほんとに今日は寒い日ですね」と母上も合づちを打たれた。

折しも友達の內より歸り來りし、小さな姪等の「雪やこんこあられやこんこ」…と歌ふ聲にさあそれだから寒かつたと父上の一人言、外では霙らす……「降つても降つてもまだ降りやまぬ、犬は喜び庭かけまわり猫は炬燵で丸くなる」…と歌ひながら降りしきるあられの中を事ともせず前掛にてあられをうけてゐる。

「アラお隣のあやちやんも來ておられるやうだわ」と私も障子を細目にあけて見ると、まあほんの一寸の間にもうそこら一面まつ白くなつてゐる折しも門前を臺八車に割木をたくさん積み犬にもひかせて一生懸命にひつぱりながら通りすぎた。あゝこの寒いのに職業とはいひながら、犬でさへあの樣に働くものを、あゝ私はと思ひかへして、急いで障子をしめて縫物の手を動かした。

（評）面白く書けてゐます。

鷄の死

北海道　萩原千鳥

ココココ……けたたましく庭から鷄の必死な聲がばたばた、强く抵抗して居るらしい、羽ばたきと一所に起つた、ココココ聲が段々重苦しくなつて行く「どうしたのかしら」と庭を見ると鷄はたかにつかまれてツツかれて居る。逃ようと一生懸命に身をもがく私は思わずシツーとまきをぶつけた、たかは驚て、パツと飛立た、かけて行て見ると、鷄はもう死んで居る、可哀相に自分を守る武器のないものはこうあつけなく、自分の命を投げ出してしまわなければならないか、是は皆先天的に運命づけられて居る事なのかするとたかは殘念なのではない、そうかも知れない、弱いものは總ては皆まぬかれない出來事なのだ、人間もそうか知ら勿論そうだとするとそつと、不安が萌して來た、もしや、益々疑はれてぢつとして居られなくなつて來た、そつと父の病寢を覗いて見ると、父は平穩な寢息を立てゝ居る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

賞　天

家出せんと書置かきつ妹の寝顔みつめぬ燈火の下

福島縣　生江哀涙子

評　泣きぬれて涙に曇るその眸夢に知れとて眺め入るらむ

地

羽子板を胸にかゝへて幼子はニッとほゝ笑み走りゆくなり

靜岡縣　風岡富士子

評　年きけば八ッか七ッと答ふらむ抱へし羽子を生命にはして

人

かごとればく〳〵と呼びつゝ親鳥の庭の霜菜をあさるいとしさ

愛知縣　今井しげ子

評　自らの飢をわすれてひなを呼ぶ生あるものゝ母ごゝろかな

賞

讀み返す文にまつはる一條の長き黒髪寂しみて見る　靜岡縣　鈴木まさの

妹の病める夕べの我庭に音も淋しく山茶花の散る　群馬縣　堀越きの子

しみ〴〵と夜寒おぼえて歩みゆく大路しづかに我一人ゆく　滋賀縣　田原しづ子

風まちて凧あげに行く弟を眺やりつゝほゝ笑める母　群馬縣　美喜子

訪ふ人もなき山里の冬の夜は粉雪の音のさら〳〵となる　福島縣　土屋しの子

風さそふ眞帆を彩る灯火は波間に消えつ濱時雨する　長崎縣　はな子

亡き母の面影慕ふ妹の言葉淋しき冬の夕暮　香川縣　石川もと子

灯火をヂッとみつめて何故か友の眸に泪光れる　群馬縣　橋本とく子

水清き里の小川に影うつしいよ〳〵冴ゆる冬の夜の月　神奈川縣　山口孝子

わがために吹雪の夜みち歸りくる母偲びつゝ枕ぬらしぬ　宮城縣　卆岐あい子

母と我と夜道をいそぐ道のべの雪に輝く月の冷たさ　福島縣　小笹磨須子

尊くもやしろのきざはし上りつゝ仰ぐ木の間に曉の星　富山縣　宇田薫子

眞赤なる萬兩の實は今日もまた松の木蔭に日をみざりけり　香川縣　高木比佐子

クン〳〵とよろこび勇み尾をふりて我をむかへし愛らしきエス　東京　大久保國子

冬枯の庭をかざりて淋しくも二ひら三ひら咲ける山茶花　鳥取縣　小原しげ子

かへりゆく枯野に殘る一本の野菊を愛でり吾は佇む　群馬縣　島田幸子

灯火のを暗きそばに母上は齒を染めてあり冬の夜寒に　滋賀縣　中川とら子

うら枯れし梢さびしき庭の木の根元に香ふ水仙の花　香川縣　大山靜江

暗き心抱けるまゝに春に入る悔は冷たく我が胸を食む　福島縣　日下英美子

霙ふる山の畑に麥をふむ若き此の身を尊く思ふ　鳥取縣　松本明子

鍬肩に山路を行けば足もとに野菊さびしくほゝ笑みつゝあり　長野縣　山田利久子

妹と手に手をとりて我家にと急げば寒き木枯の音　福島縣　小柴房野

夜半の雨いつしかかはりうれしくも今朝はつ雪となりにけるかな　甲斐　丸山すみ子

天地を洗ひきよめてよべの雨に松の綠はいやまさりつゝ　神奈川縣　山口孝子

鍬肩に山路を行けば足もとに野菊淋しくほゝ笑める見ゆ　長野縣　山田利久子

四五人ともはやなりけり談話會秋の夜長に寒さおぼえぬ　京都府　山内ふさの

せめてはも星にあはれを求めけりこの乙女の涙知れとて　神奈川縣　三浦あや子

一年の汗と力の効見えて嬉しく年をむかへけるかな　北海道　早苗波里子

亡き母を戀ひ慕ひつゝ父上の頭の白髪見るが悲しき　山口縣　清水菊子

門先きのわづかに殘る紅柿に秋の夕日の弱くてらして　群馬縣　對比地こう子

にこやかに笑をふくみて妹の語るを聞くが我はうれしき　鳥取縣　小林卷代

ホカ〳〵と小春日和を針はこぶ膝にうれしき友禪のいろ　島根縣　山根ふさの

風あらき磯上の松の梢よりのぼるも寒し片はれの月　岐阜縣　安藤繁雄

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

新らしき年をむかへし明星の宿れる空を初鶏の聲　福島縣　兒島ゑい子

見渡せば白がれ敷ける冬の野に雀囀る聲淋しかり　福島縣　鈴木春代

人は皆れ靜まりたり我ひとり炬燵こひしく針を運ぶも　野　菊

春の夜に机のもとに我一人文よみをれば心地よきかな　福島縣　渡邊みどり

朝寒に井戸のほとりに米とげば有明月の影の殘れる　香川縣　岩井つや子

明け暮れに今日は今日はと首長く處女の友まつ心せつなさ　神奈川縣　山下ゑみ子

除夜の鐘一入淋し病む身には悲しくもあり嬉しくもあり　京都府　谷岡節子

ふりつもる雪に光をみなぎらせ豐けき年の初日のぼりぬ　靜岡縣　山口艷子

道遠し古枯すさぶ冬の夜に我は行くなり學び家の窓　青森縣　小野寺みし子

新らしき涙わき出ぬ幾度か別れの惜しき舊師みかへり　埼玉縣　藤野津根子

山ふかく人さと遠き我が家にもはつ日うれしく年はきにけり　宮城縣　富塚ときわ

弟のくみし若水茶に立てば香りゆかしく茶柱の立つ　長野縣　瀧澤やよ子

戸明くれば見渡す限り果もなく銀の世に鳥の一こえ　愛媛縣　久保隆枝

水鳥なく水さへ氷る冬の夜の小川にうつる寒月のかげ　一讀者

冬枯のさびしきあれ野にひゞくなりあはれも深き犬の遠吠　香川縣　山本みゆき

山かげのわらぶき屋根のかき根ごし早咲の梅さきにけるかな　香川縣　川上とみゑ

星もなき冬の夜空を眺めつゝくらき涙に父戀ふるかな　長崎縣　長岡滿枝

處女俳壇

賞

羽子抱いていねし妹の寢顏かな　愛知縣　今井しげ子

若水に我十八の笑顏かな　福島縣　兒島ゑい子

賞外

落葉負ひ田舍の乙女山下る　神奈川　金子愛子
木枯の破れ戸たゝく夜寒哉　香川　石川もと子
母と子のいとなみ淋し秋の夜　鳥取　松本つぼみ
霜の朝大根汁のうまさかな　滋賀　田原しづ子
厨あさる猫の眸や冬の雨　香川　高木比佐子
歸り來る父を待つ夜の吹雪哉　福島　生江哀涙子
雪の日や南天の實の赤さ哉　野菊子
笑ひ聲家にひゞくや酉の春　群馬　美喜子
はき掃除箒のあとの落葉かな　香川　柴田たつ子
ふく風にゆるがぬ軒のほし大根　香川　川上富枝
縫ひ込めし糸の長さや秋深し　富山　宇田燕子
母と二人菜を洗ふ日や寒の入り　栃木　長澤すみ子
月冴えて霜ふむ下駄の音寒し　靜岡　風間富士子
傘と傘とまつりゆきつ暮の雪　百合子
栗する小夜をこたつに集ひけり　神奈川　山口孝子
初冬や木を伐る音の肌寒き　岩手　佐藤笑子
月冴えて犬の遠吠かすかなり　福島　水野勝代
みたらしの氷割る音や朝寒き　宮城　平岐あい子
寒月や冷たく澄める水の面　愛媛　橋本澤代
元日や此こゝろにて世を行かん　岐阜　安藤さゝの
菊枯れて山茶花寒き庵かな　島根　多久和菊野
月冴えてかすかに響く水車かな　京都　山内ふさの
隣家の鷄の聲遠し雪の朝　福島　土屋しの子
歌唄ふ日の震へや雪の朝　東京　大久保國子

懸賞募集

私の崇敬する婦人

外國の婦人でも日本の婦人でも又は昔の婦人でも今の婦人でもよろしいから、自分の最も崇敬する婦人をお知らせ下さい、そしてその婦人のどんな點が最も眞似すべき點であるかといふ事も書いて下さい（廿四字詰五十行以內）

よく出來た方には賞品を呈します

表紙に對する私の感想

新年號より改めた處女の友の表紙には非常に意味深い所がありますが皆さんは何と見られましたか處女の友の表紙を見ての御感想を聞せて下さい但しハガキ一枚に書く事

よく出來た方には賞品をさし上げます

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

一人一信限りおくれた方は次の月に廻します

新年に際し、處女會中央部宛に、御年始狀を下さいました御方に對し其の御厚意を深く感謝致し、誌上を以て厚く御禮申し上ます(記者)

○大變お寒くなりましたが記者樣には、いつも御すこやかにいらせられ、何よりお目出度く存じます。天野先生は私の村へもお出下さるでせうか、お出になつたら皆でとりまいて都の話を聞きます(香川縣　大平みさを)

△香川縣にもまり度いと思ひます(あまの)

○先生お變りはございませんか私は上州の片隅に淋しう鋤を持つて暮して居ります。どうぞ群馬の草深き地に先生を慕ひて泣いて居る乙女のある事を御記憶下さい、すれば私はどんなに〳〵幸福な事でせう先生お聞き下さいませ、私は處女の友のおかげで宮城の牟城樣、二階堂樣其他五六人やさしいお友達が出來ました(群馬縣新田郡九合村對比地こう子)

△お手紙有難く拜見いたしました微力の私共が一生懸命で編輯する處女の友により皆樣がだん〳〵よいお友達をお作りになるのが嬉しくてなりません(ひろの)

○私は西條村處女會河原支部の一員です、私の會では大正七年十二月より八年の四月迄、珠算、國語、衣服の裁方、縫方、作法、折紙、水引の結び方等、夜學を開いて敎へて頂きましたが、村内の人の中に處女の夜學は危險だと云ふ人があつて一時中止致しました、そして一週に一度寄り合つて、それ等の事を敎へて頂いて居ます、記者樣處女の夜學は惡いでせうか、危險でせうか先生の意見を伺ひ度う存じます、(山梨縣西條村丸山すみ子)

△夜學は決して危險でなく、今後ます〳〵農村處女の向上發展には、夜間講習を奬勵し度いと思ひます、唯々全國の皆さんが確乎としてあくまでも女の强さを見せて、世の人に處女の眞面目さをお見せになる事が最も必要な事と思ひます、(記者)

○記者樣小生は昨年六月號より御誌を致名の友と廻讀してゐます。有益な記事ばかり私等一同これを以て無二の友として愛讀してゐます、(埼玉縣今泉豹吉)

○先生十二月號を拜見して、畏らずも私の名を見出しまして、誠に心の底から嬉しう御座いました、何も知らぬ者で御座いますが何卒御指導下さいますやう幾重にも願ひます、(神奈川縣　廣野とし子)

○見渡せば四方の山の頂は眞白になり山下しは身に泌みて寒うございます、先生お變は御座いませんか前號の先生の御言葉は實に身にしみて一層力が入りました、香川の大平みさを樣も母樣がないのですつて、妾と同じですね、今後先生の御言葉をかへり見て一心に勉めませう、(栃木縣河内郡瑞穗野村　大塚たい子)

○記者樣に申上げます、考物の締切期日を延期してもらひ度いと思ひます、遠い所の者は間に合ひません(一讀者)

△承知いたしました(記者)

○私は處女の友を拜見するやうになつて、田園生活を樂んでゐます、十二月號の友情の靖代さんほんとにかわいさうです次號を待つて居ます、(香川縣仲多度郡垂水村　山本みゆき)

○私は處女の友愛讀者の一人です敎師を希望してゐますが、師範や女學校へゆかれば小學校の先生にはなれませんかお答へ下さい(高知縣一處女)

△代用敎育として暫く御奉職なすつて、縣の檢定試驗をおうけになれば立派に敎員の資格がとれます、(記者)

○新春の御慶目出度く申納めあはせて記者諸先生及び誌友の諸姉樣の御健康を祈ります、松崎先生出雲の空よりお慕しう存じます、鳥取の小原しげ子樣御便り　お待してゐ　ます(松江　つる子)

○嚴寒の候となりましたがお蔭樣にて私共一同無事で居りますから御安心下さい此の後もよろしくお願ひ申します(福島縣河沼郡新鄕村　夏井赤城きん)

○おなつかしい記者樣私は家で每日母や姉とお針の仕事に餘念なく働いてゐます、私も都に憧れて居りましたが處女の友のおかげで今では却て自分の不心得を恥ぢるやうに思はれて來ました、これ皆先生のお影とよろこんでゐます、私も初めて愛讀者の一人となり諸姉樣と諸共に處女の友のために力をつくし度いと思ひます、(福島縣若松市外高瀨　中島春美)

○記者樣始め誌友の皆樣、お變りはありませんか私は片田舍に淋しく暮す哀れな境遇にある者でございます、誌友の諸姉樣どうぞお慰め下さいませ、宮城のあい子樣其後御病氣は如何なさいましたかお便り下さい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ませ同縣の大堀美尾様御便り下さい(福島縣双葉郡新山町　笠原ふじ子)

○編輯局の皆様お變りなく目出度き新年をお迎へ遊ばした事と思ひます處女の友とます／＼親しくなるのが嬉しくてなりません、誌友の皆様此後も相變らずお願ひ致します(新潟縣楨局區内　小杉葉子)

○先生お情けを以て誌上に歌をお載せ下さいまして有がたうムいます宮城の牟岐あい子様健全にお過し遊ばしませ(鳥取縣西伯郡春日村小原紫子)

○お寒さに向ふ折から記者様はじめ皆様お變り御座いませんか、私事昨年からの愛讀者で御座いますがいつも御無沙汰ばかり致し申し譯ありませんお便り致さうと思つて書いて置きましたが姉の病氣に妹の死といふ悲しい事のみ續いて居りましたのでつい思ひながらの失禮致しました(群馬縣新田郡鳥の郷村堀越きの子)

△誠に御同情いたします、御姉妹の御病氣と御死去どんなにか悲しかつたでせうれえ(記者)

○記者様お寒い折柄お變りは御座いませんか。私は故郷遠くはなれて一人淋しく工場に働く工女で御座います。本年の一月より本誌を愛讀して居りますが、お便りは初めて御座います。よろしく御交際を願ひます。(神奈川縣保土ケ谷町富士瓦斯紡績保土ヶ谷工場　矢部みよ子)

○私が處女の友愛讀者と成りて約一年。妾は御前が戀しい。皆様將來よろしく。(福島縣安達郡小濱町　金川キソ子)

○大そう寒くなりました、記者様を始め皆々様にはお變りはありませんか。私は農家の一處女でござゐます。毎月乍ら有益なる友をお送り下さいまして有難うございます。皆々様御身御大切に遊ばすやう祈ります(岐阜縣武儀郡上麻生村　林たゞ枝)

○私は會津に住む處女でございます。去年の十一月から御誌の愛讀者となつて滿足と感謝とに其の日を送りつゝある者です。誌友の皆々様今後は一層濟きお導を願ひます。(福島縣耶麻郡猪苗代　大竹きな)

○宮城の牟岐愛子様會津の生江哀涙子様おしたわしゆうございます。母亡き子は淋しき猪苗代湖畔よりおしたひして居ります。幸多き日をお送り遊ばしますよう祈ります。(福島縣耶麻郡千里村字堤崎　土屋志乃子)

○明けましてお目出度う存じます先生どうぞよろしくお導きの程お願申上げます。竹腰よそ枝様田村百合子様、橋本登久子様宮城のお姉様おしたわしう存じます。いたらぬ者ですがどうぞお交り下さいませ。山里の少女はどんなに嬉しいか知れません。(神奈川縣　山下惠美子)

○新に樂しい誌友の皆様の幸運を祈ります。(福島縣　大大内さめ子)

○會津の地は、眞白い雪に閉ざされ毎日風が吹き續いて居ります。若い私の心はなんとなく寂しくなつて行きます。愛する處女の友は、せめてもの慰めに、月々私の机の上に上つてくれます。皆様、寂しい會津の雪の中に住む乙女を可愛相だと思ひ何うぞ御交り下さい。(會津坂下局區内青津十八番地　生江哀涙子)

○私は飛行機で名高い所澤在の一處女で御座います。十二月號より處女の友を愛讀し始めました。記者様よろしく御指導して下さいませ。(埼玉縣入間郡小手指村北野　大舘たけ)

○私は第二卷當時拜讀さして戴きましたが、少し都合上にて約一ヶ年ばかり、中止いたして居りましたが、懷かしくてなりませんから、又本年から愛讀者として戴きました。その間一星霜の中に、内容の充實長足の進步發展には、たゞ／＼驚くより外有りません誠に喜しい事でございます。何卒誌友の姉様方以前に變らぬ御優しい御心にて御導き下さいませ(靜岡縣小笠郡曾我村　松浦靜江)

○恐しい冬は雪やみぞれや木枯しや色々の武器を持つていよ／＼參りました。記者始め御皆々様昨今の寒さにもよう御變りはありませんか。時節柄御身大切に(甲斐　すみ子)

○先日は美しいゑはがき有がたうムいました。又いつも下手な文や歌などおなほし下さいまして實にうれしく存じて居ります。私が處女の友を愛讀しかけてから二年になりますどうか本年もよろしくお導びき下さい。(和歌山縣伊都郡隅田　石井えい)

○皆様新年を迎へますのが戀しい様でうれしい樣な感じが致しますのれ。御變りもなく御過しで御目出度うございます。佐藤操子様同縣で御なつかしうございます。御さしつかへなければ御文通を願ひます。(宮城　ときわ)

○御懷しき記者様及び誌上の皆様には御無事で御暮し遊ばされますか私は十月からの愛讀者でございます宮城の牟岐愛子様二階堂たかを様未だ見ぬ君ながら姉とお慕ひ申して居ります不束な妹をよろしく御導き下さい。(鳥取縣西伯郡春日村　小林俗代)

○記者様初め誌上の姉上様御健全ですかお伺致します。私も本月號からの讀者です、どうぞよろしく御指導下さい。末筆に益々本誌の發展を祈ります。(鳥取縣西伯郡中濱處女會員　松本つぼみ)

○佐波の橋本さま十二月號でみやさしいお言葉愛子さまのいつに變らぬお情こもるお言葉のかず／＼ほんとうにいたらぬ妹はどんなに感謝の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

涙を流して居るか知れません。(群馬縣新田郡九合村　劉比地こう)

○新玉の年の始めの御ことぶき千里も同じ御風に萬代までも幾久しく祝ひ納めます。記者樣誌友の皆々樣待ちに待つたるこの樂しい新年十分ゆくわいに暮しませう。本年も相變らず御交際を御願ひ致します。(福島縣安達郡杉田村　梅津みや子)

○天野先生樣十一月に所澤にお出になりましたとの事何卒我が富岡村へも御出張下さい。そして二百六十四名の處女會員を御導き下さいませ。何より樂しみに待つて居ります。(埼玉縣入間郡富岡村　藤野津根)

△其の中伺ひませう(あまの)

○先生誌友の皆樣、とう〳〵九年も暮れてしまひましたれいそがしい秋の取入の苦しみもすつかり忘れてしまひましたほんとに早いものですわ。おかげで秋風に吹かれた(とら子)の荒れはてた手足のヒビももうすつかり落ちて色白のベツピンさんになりましたおほゝゝ。そして優しい手に持つものは處女の友ですよ、宮城の愛子樣おなつかしいお言ば有難うたかをさまにもよろしくね。(滋賀市逖村　中川とら子)

○群馬の石田樣香川の月見草樣、誌友くらぶにて御やさしき御ことば淋しいふさのはどんなに感謝した事でございませう。不束なふさのを何卒末永く御導き下さいませ。蟲の音もうらがれて向ふの御山には時ならぬ花盛り、初冬のながめは又格別でございますの、お寒い折柄何卒御身御大切に誌友の皆樣よろしく(島根山根ふさの)

○皆樣とう〳〵御正月はまゐりました。悲しい事苦しい事、何もかも忘れて樂しく面白く、遊びませやう。そして今年こそは有益に毎日を暮そうでは有りませんか。「過去のことより現在を思へ」何事も過ぎ去つたことは何とも取りかへしがつかないのですから唯々現在を有益に暮すのが肝じんだらうと存じます。(群馬美喜)

誌友の面かげ

鳥取　小原しげ子

○記者樣を初め誌友の皆樣はお變りはありませんか。私は本年二月からの愛讀者です。何卒記者樣處女會のために益々御盡し下さるやう願ひます。(福島縣大沼郡川路村　星安野)

○「强く優しくまじめに働け」の先生の御言を胸にうかべつゝ、働くを樂しみつゝ、幸ある日を送つて居ります。(滋賀縣蒲生郡市逖村字布施　田原しづ)

○何卒私も誌友くらぶに御仲間入させて下さい。(香川瀧三豐郡　田岡光)

○私は天野先生の文章はだいすきですわ、もつとたくさん出して下さい。(岐阜縣武儀郡○○處女會員)

○記者樣始め誌友の御姉樣には御無事にて御年をお重ね遊ばされた事と存じます。春日村の小原しげ子樣同縣同郡でおなつかしう御座います何卒御交際を(鳥取縣西伯郡渡村字上大澤　門脇みつ子)

○この片田舍は今樂しい、舊のお正月でございます、十二月の誌上にまづい節婦のお話をお載せ下さいましてほんとうにお恥しう存じます厚く〳〵お禮申上げます。香川の月見草樣みやさしのお言葉嬉しう存じます。不束な子ですがお見捨なくお導き下さいませ。愛子さまお體はいかゞたかを樣にもお達者ですかお便おもらし下さいませ。(香川　高木比佐)

○記者皆々樣お變りはありませんか、私は九年十二月號より親しく愛讀者となりました、今後本誌に依つて修養したいと思つてゐます宜しく御指導下さい。(愛知縣幡豆郡吉田村今井しげ女)

○私は田舍に住む處女で御座います。七月から御誌を愛讀して居ます記者樣始め誌友の御姉樣御導き下さいませ。(北海道雨龍郡雨龍村　荻原千鳥)

○私は大正九年の十一月より本誌の愛讀者となつたものです。どうぞよろしく。記者樣三月には石城郡平町城山の舊跡の繪葉書を送ります。(福島縣石城郡鉄輪村　小笹磨須子)

△どうぞお送り下さい。(記者)

○寒さの候となりました。記者樣お達者でございますか。處女の友は皆有益なる記事ばかりなので樂しく拜見して居ります。(香川縣香川郡淺野村　井下いよ)

○私は會津の片田舍に住む一處女です。本年一月號より愛讀者となりました。よろしく御願申上ます。(福島縣大沼郡永井野　長嶺はる)

○天野先生外記者樣にはいよ〳〵御機嫌うるはしく御歳を重ねさせられおよろこび申上ます。(山梨縣巨摩郡西條村　丸山すみ)

○記者樣私は信濃高原に住む一處女で御座います。毎月有益なる御誌に親みつゝ淋しき身をなぐさめて居ります。又無二の友なる多津子樣と相談し、見聞中のよい文章又は敎訓的の歌なるノートに書留めおき、これを美文の友と名づけ時々交換してはいかゞ。終りになつかしき誌友の皆樣御自愛專一に。(長野縣東筑摩郡五常村　山田川りく子)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

△梅一輪早くも蕾を破つて、雪の中より春の魁けをしてゐます。木枯にまけず雪に怖ぢず匂ふ處に眞の梅の誇があります。どうぞ皆さんは梅のやうに困苦を堪え忍び花も實もある處女の中堅となつて下さい。

△岐阜縣武儀郡上麻生村正女會では菖臑青年團と合同して、敬老會を催しました、本部へも委しく通信がございました。柴田校長が非常なお骨折で處女の友の誌友も非常に増へました。

△天野理事は一月十二日より、岐阜縣に出張して雪に埋もれた村々を巡講されました。

△懸賞募集「私の崇敬する婦人」はどし／＼御投書下さい、編輯部で選擇して面白い趣向を以て發表いたします。

△さかひ婦人會から「銀鈴」をお送り下さいました、非常に面白く出來てゐると思ひました。

△麹町元園町一の四七の代理部は處女會中央部で皆様のお買物に便利のため設けてあるのですから、どうぞ何品でも御注文下さい。

△今後天野理事宛の私信は、神田區南神保町二番地に願ひます。（ひろの）

新年號繪判じ解答

繪判じの答へは强く優しくまじめに働らけといふのが正解であります今回は今までになく多勢の解答でありまして、その筆跡も大變よく出來て居るのも多く見えました、然し女の名前で男の筆跡と認めたものがたくさんありました是は編輯部としても誠に殘念に思つた事であります。

今後は斯樣な心配を記者にさせないやうに致し度いものであります。考へ物や繪判じのみならず萬事眞面目に正直であるといふ事が何より大切であります。

正解者で一等よく出來た方は

香川縣三豐郡高室村　井元チカ子

其他は抽籤で左の方々に賞品をあげました。

三重縣高本繁子、福島縣小出美代、福島縣馬場花子、島根縣石川秀温、香川縣渡邊ますゑ、廣島縣秦マサヨ、鐵嶺伊藤とみ子、靜岡縣青木きく江、岐阜縣遠藤なみ子、神奈川縣溝口ミヤ子群馬縣大村たけ子、福島縣菅野ハナ子、岐阜縣淺野たかを子、香川縣中村つる枝、鹿兒島縣門上長子、愛媛縣久保澄惠子、長野縣有賀あき、東京府藤野富子、東京市松富タカ、長崎縣堂尾きん子、滋賀縣𡌛きた子、山梨縣小俣澄枝、鳥取縣武本幸子、青森縣傳法ヨネ子、埼玉縣關ちい子

考へ物新題

新題　此品を早く風呂敷に○○○（九州の市名一つ）

締切二月十日。本郷區元町二の六六處女の友發行所宛のこと答はハガキに限る其の他の投稿も凡て發行所宛のこと。

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵税
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

○○註文はすべて前金のこと
○○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○○郵券代用は必らず一割増のこと
○○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十年一月廿七日印刷
大正十年二月一日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
發行人 印刷人　田所楠猪
東京市神田區小川町三十六
編輯人　天野藤男
印刷所　成巧社印刷所
東京市麹町區紀尾井町三番地
處女會中央部

發行所　東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌　東京堂、北隆館、至誠堂其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

青年圖書

大久保四州著（第十四版）
青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娛樂▲青年團の連絡▲
定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢稅共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄
新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一
帝國青年發行所
振替口座東京二一一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は 處女の友 の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

創刊十六年 地方振興民力涵養の機關

新民

二月號 ■一部 卅錢 一年 三圓六十錢

■義務教育費國庫支辨論……澤柳政太郎

■國際勞働會議に就て……使用人側代表 松本圭一 使用者側代表 田村律之助

■米價維持運動の眞相……山崎延吉

■都市計畫上塵芥及糞尿の處分問題……今關農學博士

■自治の心核に觸れよ……池田宏

■小學校の經濟的教育……村田宇一郎

■思想問題と地方自治……湯原元一

■報德の新彩……早川千吉郎

■新講談 鯉の裁判……天野雄彦

■最簡便有效なる貯米法……辻川巳之介

■自治發展の根本策……繁田武平

■我邦現下の農村問題……山中六彦

■市となれる千葉と足利……小島憲

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口 各府縣の會員讀者諸君には特に地方版を配布す

增補六版

山崎延吉先生著

婦人の覺醒

■價三十錢 ■送料二錢

附表 女房の善惡鏡

内容一斑

■女の一心■公私二諦(公方面。私方面)■婦人の三役(家政。育兒。趣味)■婦人の四德(婦容。婦言。婦德。婦行)■婦人の五惡(附宗教の必要)婦女の六大事(自覺。修業。學問。就職。結婚。母務。姑勤)■婦女に對する七大要求(研究。常識の涵養。能率の增進。體育。趣味の養成。社交。經濟的なる事)

内務書記官 田子一民先生著

米國に於けるアルコール戰

(再版) ◎定價金參拾錢 送料四錢

世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者曩に歐米を巡遊し、親しく米國に於ける禁酒運動の由來と其沿革を究め、感慨禁ずる能はざるものあり、歸來自ら多年の嗜好たりし飲酒を斷ち敢て此一書を提供して同胞の反省に資せんとす請ふ一讀あれ。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

床次内務大臣閣下題辭　田子書記官序
中橋文部大臣閣下題辭　乘杉事務官序

天野藤男
同　清子　著

改造向上 青年と處女の叫び

怱再版

□上製金參圓
□並製金貳圓五拾錢
□送料拾八錢

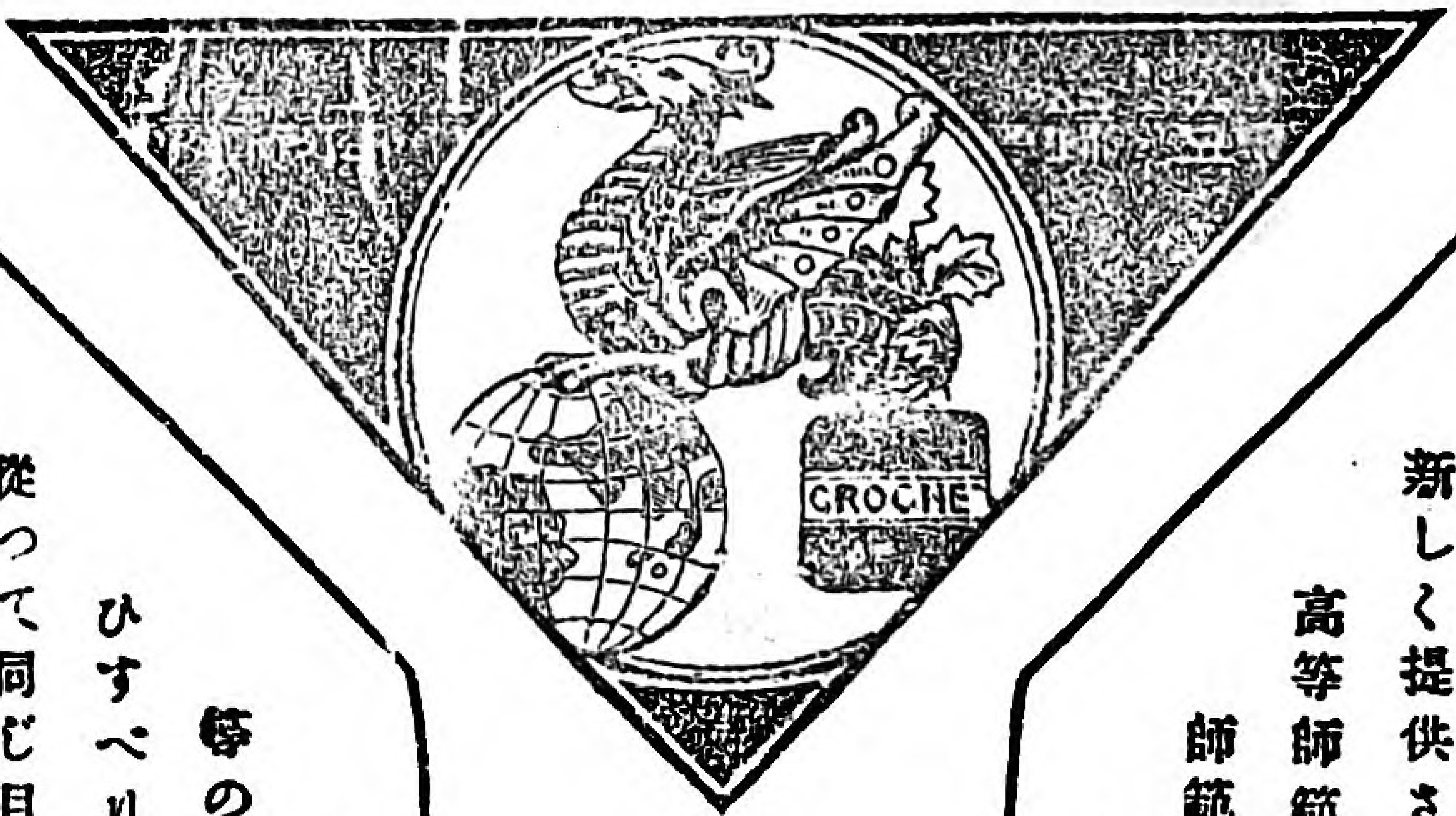
本書は全國青年處女の純潔眞摯なる叫びを綜合し、對照し批評して兩者連絡提携の妙楔を策せんとするもの青年男女及び教育家其他一般人士殊に父兄母姉の必ず一讀すべき書なり。著者は青年の聖徒にして處女の殉教者である。其說く所は言々血涙の結晶也。近年稀覯の快著として推稱す。

内容一斑

□第一青年の力處女の愛□第二青年と處女の叫び□第三青年團改造の要諦□第四青年團促進改造の方策□第五處女より青年への叫びを見て□第六青年より處女に隔意なき雄叫び□第七處女より青年への純眞の叫び□第八處女の立場から□第九思出から結婚まで□第十私の敬慕する男□第十一新らしき結婚へ□附錄、青年團訓令、處女會設置標準、青年團處女會及中央部施設一覽其他

東京神田美土代町三の十四
振替口座東京四二四一四番
發行所　親愛社

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



何もかもが改造されて参りましたのに、御家庭用品の中でも大切な縫糸が、古い時代の姑息の品で、お間に合ふ筈はありません。皆様の御要求により十分研究を重ねて、新しく提供された、殆ど理想に近い此のキリン縫糸をお試み下さい。東京女子高等師範學校、共立女子職業學校、戸板渡邊和洋各裁縫女學校、全國女子師範高等女學校、三越呉服店、白木屋呉服店を始め斯道の大家、實際家の御證明、御推賞を頂き多々御用命を承つて居りますのも此の

新しく出來たキリン縫糸

が、從來の糸に比して、非常に優れた點を持つて居るからです。上等の綿で紡いでありますから引が強く、瓦斯燒シルケット掛ですから縫ひすべりが非常によく、細さも丁度使ひ加減で絹小町の代りにもなります。從つて同じ目方で從來の糸よりも、三割五分は長くなつてゐます。一方販賣にも多くの人手を用さず直接皆様にお願ひするのですから、旁々非常に割安になつて居ます。四時折々の御贈答品として品質の良い包装の瀟洒なキリン縫糸をおすゝめ致します。

東亞綿絲工業株式會社

東京市日本橋區堀江町

一(三越・白木・其他有名呉服店・雜貨店等にあり)一

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年一月二十七日印刷納本
大正十年二月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所